令 和 5 年 10 月 16 日

各　　位

米子市総務部契約検査課

入　札　説　明　書

市が行う建設工事の工事希望型指名競争入札を下記のとおり行いますから、希望があれば米子市建設工事執行規則（平成17年米子市規則第106号）及び米子市会計規則（平成17年米子市規則第44号）を承知のうえ参加してください。

記

工事希望型指名競争入札に付する工事	工　事　名	市道二本木下郷線下郷上橋ほか2橋りょう補修工事		
	工事場所	米子市下郷地内ほか	工期	契約日から 令和6年3月15日まで
契約条項を示す場所		米子市総務部契約検査課		
担当課		道路整備課		
入札保証金に関する事項		入札保証金	免除	
現場説明会		なし		
開札の日時及び場所		日時 場所	令和5年10月31日　午前9時30分　　開札 本庁舎202会議室	
契約保証に関する事項		請負代金の額が130万円を超える工事については、契約の締結と同時に請負代金額の10分の1以上の額を保証する次の各号の一に掲げる保証を付さなければならない。 (1)　契約保証金の納付 (2)　契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供 (3)　銀行若しくは市長が確実と認める金融機関又は保証事業会社（公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証事業会社をいう。以下同じ。）の保証 (4)　公共工事履行保証証券による保証 (5)　履行保証保険契約の締結		
前払金		有　　40％以内　※ただし、請負代金の額が130万円を超える場合に限る		
部分払		有　　回数は、米子市建設工事執行規則による　※部分払いに替えて中間前払の選択も可		
入札に関する注意事項		1.　開札前天災地変等のやむを得ない事由が生じたとき、又は競争の意思がないと認められるときは、入札の執行を中止し、又は取り止めることがある。 2.　入札参加者が1者であっても、入札を執行するものとする。 3.　入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札及び米子市郵便入札実施要領第4条に定める入札は、無効とする。 4.　入札者は、到達した入札書は、書換え、引換え又は撤回することができない。 5.　入札者は、入札書到達後においても入札執行の完了までは入札の参加を辞退することができる。 6.　落札となるべき価格と同一価格の入札をしたものが2人以上あるときは、当該入札者にくじを引かせて、落札者を決定するものとする。この場合において、くじを引くべき入札者が、当該入札の立会者として参加している場合はその者が、参加していない場合は入札事務に関与しない職員に当該入札者に代わってくじを引かせるものとする。 7.　本件工事は、米子市建設工事最低制限価格設定要領に定める方法により、予定価格の2/3(ただし、8/10を下回る場合は、8/10とする。)以上で最低制限価格を設定しており、最低制限価格を下回る価格で入札があった場合は、当該入札者を失格とし、予定価格の範囲内の価格で入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とする。 8.　入札書に工事費内訳書が同封されていない場合は、無効とする 9.　落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に10%に相当する額を加算した金額をもって落札価格（円未満切捨て（単価契約を除く。））とするので、入札者は、消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積った契約希望価格の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。 10.　入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号)等に抵触する行為を行ってはならない。 11.　入札回数は、1回とする。		
その他の注意事項		1.　米子市工事希望型指名競争入札実施要領に定める経営内容等が不健全な申込者及び工事成績が不良な申込者は、不指名とすることがある。また、同一入札における資本的、人的関係にある複数の申込者のうち1者のみを指名し、他の者を不指名とすることがある。 2.　申込時に届けのあった配置予定技術者の変更は、入札書差出期限まで変更可能とし、その後の変更は原則として認めないものとする。 3.　同一の主任技術者は、米子市が発注した工事（通常型指名競争入札及び随意契約によるものを除く。）に3件を超えて従事することはできないものとする。 4.　別に定める「建設工事に係る配置予定技術者の取扱いについて」における重複申込者に該当する者は、配置予定技術者重複届出書を所定の方法により提出すること。なお、入札結果により配置予定技術者がいなくなった場合は、失格とする。 5.　工事現場に配置する技術者等（主任技術者、監理技術者及び現場代理人をいう。）は、当該建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係（第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係が存在することをいう。）が申込日までに3ケ月以上ある者に限るものとする。		
施工に関する注意事項		1.　工事設計図書　別紙のとおり 2.　本工事の施工にあたっては、鳥取県制定「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「公共建築工事標準仕様書」又はその他別に定める仕様書等に基づき実施しなければならない。 3.　この契約に係る工事の施工にあたっては、ダンプカー協会加入車を優先的に使用するよう努めること。 4.　工事着手前に自治会長及び地元関係者に連絡すること。		
米子市建設工事執行規則第14条により公にする予定価格				¥49,630,900
最低制限価格		（直接工事費＋共通仮設費＋現場管理費の9/10＋一般管理費5.5/10）×1.1		

工　事　設　計　書

令和　5　年度	工事名	市道二本木下郷線下郷上橋ほか２橋りょう補修工事

部長	課長	担当課長補佐	審査	設計

設　計　金　額	円
工　　期	契約日　　から　令和6年3月15日　まで
工　事　場　所	米子市　下郷　　地内ほか
工　事　概　要	二本木下郷線下郷上橋 橋長L=62.4m　幅員W=4.8m 橋梁補修工　一式 橋梁付属物工　一式 現場塗装工　一式 仮設工　一式 大山街道線１号橋 橋長L=3.8m　幅員W=6.3m 橋梁補修工　一式 橋梁付属物工　一式 構造物撤去工　一式 皆生日野川線１号橋 橋長L=4.3m　幅員W=6.5m 橋面補修工　一式 構造物撤去工　一式 区画線工　一式 仮設工　一式

米　子　市

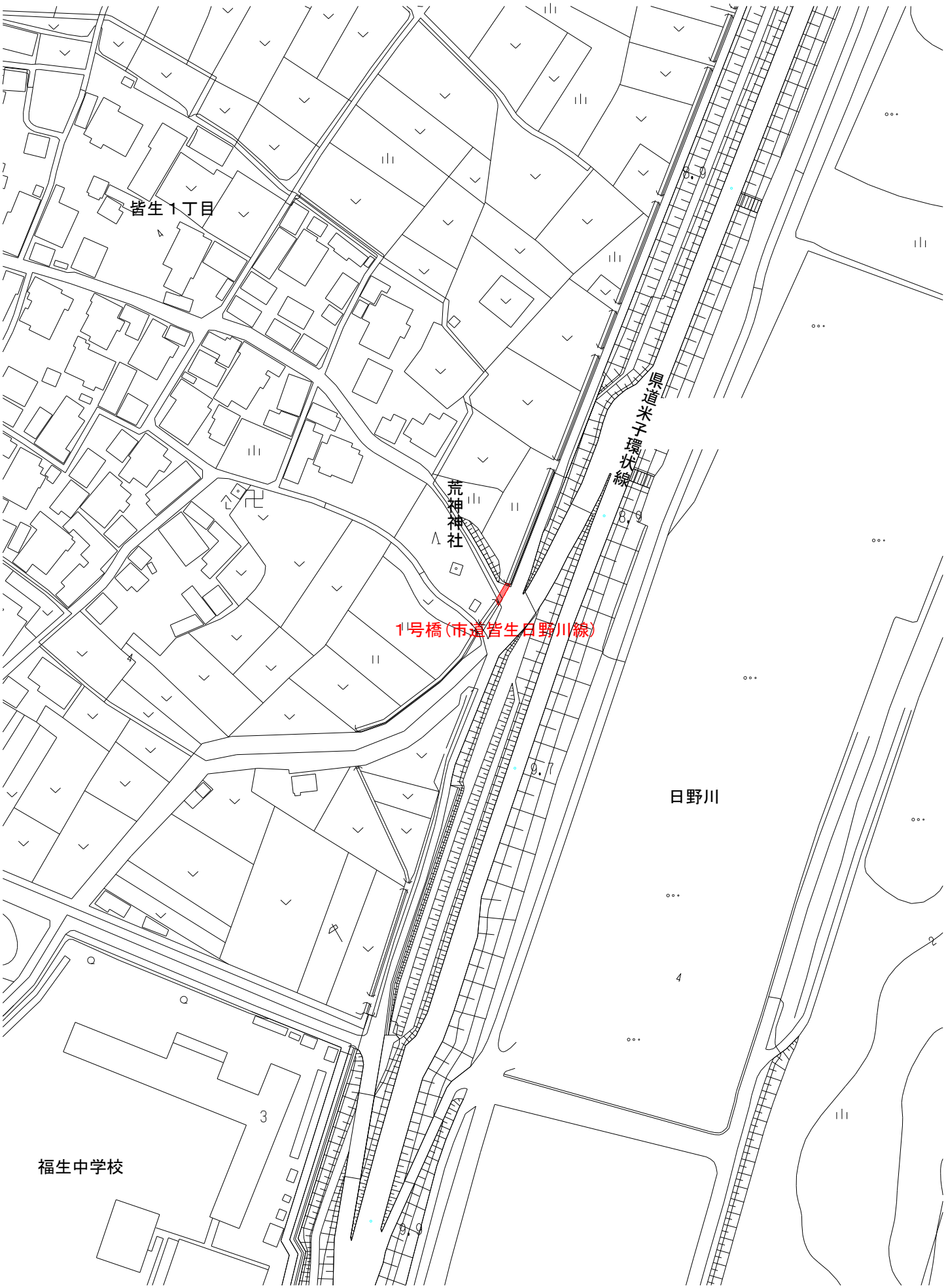
位置図

郷神社
東照寺
鳥取県保健事業団
鳥取消防学校
佐陀川
下郷上橋（市道二本木下郷線）
新二本木橋
米子流通業務団地
国道431号線
佐陀川橋
山陰自動車道
主要地方道米子大山線

位置図

公園
上口二区公民館
日吉津橋
国道９号
伯耆大山駅
１号橋（市道大山街道線）
熊党公民館
厳郵便局
県道福頼市山伯耆大山停車場線
西蚊屋公民館
厳公民館
厳保育園
浦木神社
県立米子養護学校
公園

位置図



工　事　数　量　総　括　表

工　事　名	市道二本木下郷線下郷上橋ほか２橋りょう補修工事					事業区分 工事区分	橋りょう補修 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規　　格	設計表示 単位	設計表示 数位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量 増減	摘要
本工事費								
橋梁保全工事【二本木下郷線下郷上橋】			式					
橋梁補修工			式					
ひび割れ補修工			式					
低圧注入工法			構造物					
	ひび割れ補修工 （低圧注入工法）	エポキシ樹脂系1種、床版 補修延べ延長32.4m	構造物	1		1		
	ひび割れ補修工 （低圧注入工法）	エポキシ樹脂系3種、親柱 補修延べ延長12.0m	構造物	1		1		
断面修復工			式					
左官工法			構造物					
	断面修復工 (左官工法)	断面修復、鉄筋ケレン・防錆処理を含む 修復延べ体積0.151m3	構造物	1		1		
殻運搬			m3					
	殻運搬	Con殻(無筋)	m3	0.1		0.2		
殻処分			t					
	殻処分	Con殻(無筋)	t	0.1		0.4		
排水管補修工			式					
排水管補修工			m					
	排水管撤去工		m	1		5		
	橋梁_排水管設置		m	1		4		
	材料	排水管補修（１）	式	1		1		
	材料	排水管補修（２）	式	1		1		
高力ボルト取替工			式					
高力ボルト締め工			式					
	極小規模高力ボルト本締工		式	1		1		
	材料		式	1		1		
橋梁付属物工			式					
水切り設置工			式					
水切り設置工			m					
	水切り設置工	EPDM系ゴム製水切り材　相当	m	1		125		
現場塗装工			式					
塗膜除去工			式					
湿式塗膜剥離工			式					
	塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	鈑桁構造・箱桁構造	m2	10		710		
	塗膜剥離剤	ネオリバーパック橋梁用TypeⅡ 相当	kg	1		378		
	廃材の回収・積込		m2	10		710		
殻運搬			式					
	現場発生品・支給品運搬		t	0.1		0.4		
殻処分			式					
	処分費	塗膜（廃プラ）、鉛含有	kg	1		385		

工　事　数　量　総　括　表

工　事　名	市道二本木下郷線下郷上橋ほか２橋りょう補修工事					事業区分 工事区分	橋りょう補修 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規　　格	設計表示 単位	数位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量 増減	摘要
橋梁塗替工			式					
素地調整			m2					
	塗替塗装	素地調整 ２種ケレン	m2	10		350		
防食下地								
	塗替塗装	下塗り 有機ジンクリッチペイント（２回塗り）	m2	10		350		
下塗								
	塗替塗装	下塗り 弱溶剤形エポキシ樹脂塗料（２回塗り）	m2	10		350		
中塗								
	塗替塗装	中塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	m2	10		350		
上塗								
	塗替塗装	上塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗	m2	10		350		
仮設工			式	1		1		
橋梁保全工事【大山街道線１号橋】								
橋梁補修工			式					
ひび割れ補修工			式					
低圧注入工法			構造物					
	ひびわれ注入工 （低圧注入工法）	エポキシ樹脂系３種 延べ延長17.1m	構造物	1		1		
断面修復工			式					
左官工法			構造物					
	断面修復工 (左官工法)	断面修復、鉄筋ケレン・防錆処理を含む 修復延べ体積0.001m3	構造物	1		1		
充てん工法			m3					
	断面修復工 (充てん工法)		m3	0.01		0.10		
	型枠工		m2	1		4		
	支保工		空m2	1		5		
	鉄筋工		t	0.001		0.001		
	材料	断面修復工（充てん工法）	式	1		1		
橋梁付属物工			式					
水切り設置工			式					
水切り設置工			m					
	水切り設置工	EPDM系ゴム製水切り材　相当	m	1		3		
構造物撤去工			式					
運搬処理工			式					
殻運搬			m3					
	殻運搬	Con殻（無筋）	m3	0.1		0.1		
殻処分			t					
	殻処分	Con殻（無筋）	t	0.1		0.2		

工　事　数　量　総　括　表

工　事　名	市道二本木下郷線下郷上橋ほか２橋りょう補修工事					事業区分 工事区分	橋りょう補修 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規　　格	設計表示 単位	設計表示 数位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量 増減	摘要
橋梁保全工事【皆生日野川線１号橋】			式					
橋面補修工			式					
橋面防水工			式					
塗膜系防水			m2					
	橋面防水工（補修）	塗膜系防水　アスファルト系	m2	1		23		
	材料		式	1		1		
端部処理工			式					
	流末処理工		箇所	1		4		
	削孔	φ60	孔	1		4		
表層工			m2					
表層			m2					
	表層(車道・路肩部)	改質アスファルト密粒アスコン改質Ⅰ型(13) 橋面部　舗装厚 平均t=55mm、瀝青材無し	m2	1		23		
	表層(車道・路肩部)	改質アスファルト密粒アスコン改質Ⅰ型(13) 橋面部以外　舗装厚 平均t=55mm、PK-3	m2	1		38		
構造物撤去工			式					
構造物取壊し工			式					
舗装版切断			m					
	舗装版切断	t=15cm以下	m	1		22		
舗装版破砕			m2					
	舗装版破砕	橋面部：障害あり t=4cmを超え10cm以下	m2	1		23		
	舗装版破砕	橋面部以外：障害無し t=15cm以下	m2	1		38		
運搬処理工			式					
殻運搬			m3					
	殻運搬	As殻	m3	1		3		
殻処分			t					
	殻処分	As殻	t	1		8		
区画線工			式					
ペイント式区画線			m					
	区画線設置(ペイント式)	実線　白線　W=15cm	m	1		14		
仮設工			式	1		1		

現　場　説　明　書

令和４年８月10日改正
一般的事項１

1　仕様書

この契約において仕様書とは、特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」をいう。

2　下請関係の合理化について

(1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い本指針の遵守に努めること。

(2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払い、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。

(3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図下に変更があったときは、変更が生じた日から20日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。

(4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がいない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

3　建設資材等について

(1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。

(2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。

(3) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。

(4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。

① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。

② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

4　工事の安全確保について

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

5　建設機械の使用について

(1) 標準操作方式建設機械を使用するよう努めること。

(2) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。

(3) 排ガス対策型建設機械の使用については、排ガス対策型建設機械の使用基準について（平成17年11月15日付第200500080172号県土整備部長通知）によること。

6　団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

7　ダンプトラック等による運搬について

(1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようすること。

(2) さし枠装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。

(3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。

(4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

(5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当たって、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

(6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。

(7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。

(8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

8　不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等を使用しないこと。

9　建設業退職金共済制度への加入等

(1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。

(2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。

(3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

10　建設業法の遵守について

(1) 建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。

(2) 建設業法第26条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または、専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。

(3) 請負業者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、１級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。

(4) 建設業法第40条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。

(5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

11　労働基準法の遵守

この契約に係る工事の施工に当っては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週40時間を遵守すること。

12　建設業からの暴力団排除の徹底について

(1) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。

(2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

13　現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

(1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。

(2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（３か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者が有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14　労働者の福祉向上について

(1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に加入するよう指導に努めること。

(2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15　産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

16　コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比

コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては５５パーセント以下、無筋コンクリートについては６０パーセント以下とする。

17　消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法(平成25年法律第41号)で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

18 その他

(1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。

(2) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。

(3) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。

(4) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。

(5) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(6) 舗装単独工事（アスファルト）においては、表層工、基層工及び上層路盤工を自社施工しなければならない。ただし、表層工、基層工及び上層路盤工であっても特殊工法部分についてはこの限りでない。

(7) 契約書第25条第5項の対応については、国土交通省「工事請負契約書第26条第5項（単品スライド条項）運用マニュアル（案）」に基づき請求を行うこと。なお当マニュアル中「工事請負契約書第26条」とあるのは「米子市建設工事請負契約書第25条」と読み替えるものとする。

契約書第25条第6項の対応については、国土交通省「賃金等の変動に対する工事請負契約書第25条第6項（インフレスライド条項）運用マニュアル（暫定版）」に基づき請求を行うこと。

現　場　説　明　書

令和５年４月１日改正
特記事項１

仕様書	本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。 ・ 鳥取県土木工事共通仕様書　・ 鳥取県土木工事施工管理基準　・ ＿＿＿＿＿＿	
工程	①~~（他工事等との調整）~~	＿＿＿＿＿＿について は、＿＿＿＿＿＿と関連するので相互の連絡を密にすること。
	②~~（部分完成、着工保留）~~	＿＿＿＿＿＿については、＿＿＿＿＿＿まで＿＿＿＿＿＿（ すること ・ しないこと ）。
	③（施工時間）	＿＿本工事＿＿の施工時間は、８：３０ ～ １７：００ とする。
	④~~（余裕期間設定工事）~~	本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領（令和３年４月１日施行）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。
		工期については、調達公告のとおりとする。
	⑤~~（鋼材の調達の遅れによる工期の延長）~~	この工事の工期には、鋼材調達期間として、＿＿か月を見込んでいるが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。
	⑥（週休２日モデル工事）	本工事は、米子市「週休２日工事モデル工事」試行実施要領（土木工事）（令和３年４月１日施行）の対象工事である。モデル工事を選択する場合は、工事着手日までに発注者に協議をすること。選択後の取扱いについては、同要領の規定による。
用地関係	①~~（用地・物件等未処理）~~	本工事区間の＿＿＿＿＿＿には＿＿＿＿＿＿があるので、監督員と打合わせのうえ施工を行うこと。 なお、＿＿＿＿＿＿頃＿＿＿＿＿＿の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査）	工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、[未調査・~~調査済み~~]である。
	②~~（支障物件）~~	＿＿＿＿＿の施工に当って、＿＿＿＿＿が支障となっているが、＿＿＿まで に移設が完了する見込みである。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。
	③~~（立木の置き場所）~~	工事用地内の立木は伐採し、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に置くこと。
公害対策	①（騒音振動対策）	「建設工事にともなう騒音振動対策技術指針」を順守すること。 本工事の施工に当っては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。
安全対策	①（交通安全施設等）	一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。 なお、下郷上橋（二本木下郷線）では交通整理の必要日数 8 日を見込んでいる。配置人員として、~~交通誘導員Ａを合計＿＿名（交代要員[有・無]）、~~交通誘導員Ｂを合計 24 名（交代要員[有・~~無]~~）を見込んでいる。また、１号橋（皆生日野川線）では交通整理の必要日数 3 日を見込んでいる。配置人員として、~~交通誘導員Ａを合計＿＿名（交代要員[有・無]）、~~交通誘導員Ｂを合計 6 名（交代要員[有・~~無]~~）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員Ａ、交通誘導員Ｂの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Ａとは、警備業法第２条第４号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第１条第４号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る１級検定合格警備員又は２級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Ｂとは、警備業法第２条第３項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員Ａ以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第１４条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Ｂを配置しているとみなす。
排水濁水処理	①（濁水処理）	工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。 なお、これにより難い場合は別途協議すること。

現　場　説　明　書

特記事項２

建設副産物の処理

【建設発生土（処理）】

①~~（他工事等流用）~~

建設発生土は＿＿市・町・村＿＿地内の＿工事現場に運搬（片道運搬距離＿km）するものとする。

②~~（建設技術センター）~~

建設発生土は＿＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿＿地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離＿＿＿＿km）するものとする。なお、処理費として、１m³当たり円をセンターに支払うこと。

③~~（民間残土受入地）~~

建設発生土は＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿地内の＿＿＿　に運搬（片道運搬距離＿＿＿＿＿km）するものとする。なお、処理費として、１m３当たり＿＿＿＿＿＿円を＿＿＿＿＿に支払うこと。建設発生土は ＿＿＿＿市・町・村地内の＿＿＿＿＿＿運搬（片道運搬距離＿＿＿＿km）するものとする。なお、処理費として１m³当り＿ 円を＿ に支払うこと。

④~~（土質改良プラント）~~

建設発生土は ＿＿＿＿＿市・町・村 ＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿ に運搬（片道運搬距離＿＿＿km）するものとする。なお、処理費として１m³当り＿＿＿＿＿ 円を＿＿＿＿＿ に支払うこと。

【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】

⑤（分別解体等）

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。

なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。

（下郷上橋（二本木下郷線）、１号橋（大山街道線））

コンクリート塊１m³当り＿＿＿円　（本工事では断面修復工内で見込んでいる）

（1 号線（皆生日野川線））

アスファルト塊１m²当り＿150.5＿円

⑥~~（他工事等流用）~~

建設発生木材　１m³当り＿＿＿＿＿＿円

［Co 雑割材・＿＿＿＿＿＿］は、＿＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿＿地内＿＿＿＿＿工事現場に運搬（片道運搬距離＿＿＿＿km）するものとする。

⑦（再資源化施設への搬出）

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。

再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。

（施設の名称・受入れ費用）

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

（下郷上橋（二本木下郷線））

コンクリート塊　＿米子＿市・~~町・村~~＿淀江町稲吉＿地内の＿(株)大協組＿

（運搬距離：＿7.8＿km）、費用１t 当り＿800＿円

（1 号橋（大山街道線））

コンクリート塊　＿米子＿市・~~町・村~~＿淀江町稲吉＿地内の＿(株)大協組＿

（運搬距離：＿9.1＿km）、費用１t 当り＿800＿円

（1 号橋（皆生日野川線））

アスファルト塊　＿米子＿市・~~町・村~~＿和田町＿地内の＿カネックス(株)＿

（運搬距離＿12.5＿km）、費用１t 当り＿1,300＿円

建設発生木材　＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿

（運搬距離＿＿＿＿km）、費用１t 当り＿＿＿＿＿円

その他（　廃プラ　）＿境港＿市~~・町・村~~＿潮見町＿地内の＿三光(株)潮見工場＿　運搬距離＿23.3＿km）、費用１kg 当り＿800＿円

（受入れ時間帯）

８時～１７時（平日）

（受入れ条件）

ア　路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。

イ　コンクリート塊、アスファルト塊の径は 500mm 以下であること。

ウ　建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径＿＿＿＿＿cm 以下、長さ＿＿＿＿m以下であること。

エ　２次公害発生の恐れがある物質（廃油等）を含まないこと。

⑧　~~（木材市場等へ売却）~~

建設発生木材は＿＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿への搬出（片道運搬距離＿＿＿＿＿km）を想定し、＿＿＿円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。

現　場　説　明　書

特記事項３

建設副産物の処理	⑨~~（最終処理等）~~ ⑩ ~~（産業廃棄物の処理に係る税）~~	＿＿＿＿＿＿については、＿＿＿＿市・町・村　＿＿＿＿＿地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離＿＿＿＿km）を想定し、その費用として１t当たり＿＿＿＿＿円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。 　産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。 産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を＿＿＿＿＿円見込んでいる。
建設副産物の使用	~~①（建設発生土の使用）~~ ②（再生資材の使用）	＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に使用する。 1)　Ｃｏ雑割材は、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿工事から運搬し、 　使用箇所：＿＿＿＿＿＿に使用する。 2)　アスファルト・コンクリート切削殻は、＿＿＿＿＿＿＿＿工事から運搬し、 　使用箇所：＿＿＿＿＿＿に使用する。 3)・再生クラッシャーラン〔規格：　　〕は、 　使用箇所：＿＿＿＿に使用する。 　・再生コンクリート砂〔規格：ＲＳ－　　〕は、 　使用箇所：＿＿＿＿＿＿に使用する。 4)　再生加熱アスファルト混合物〔規格：　　〕は、 　使用箇所：＿＿＿＿＿＿に使用する。 5)　その他再生資材〔資材名：改質アスファルト混合物〕〔規格：改質Ⅰ型(13)〕は、 　使用箇所：＿＿＿表層＿＿＿に使用する。
工事用道路	①（農地の一時転用について）	本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第５条第１項に基づく農地一時転用の許可を得ること。
仮設備		

現　場　説　明　書

特記事項４

その他

①（労災補償に必要な保険の付保）

本工事において、請負者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険契約の保険料を予定価格に反映している。

②（現場環境改善）

本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・~~しない~~〕。

下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに１実施内容ずつ（いずれか１項目のみ２実施内容）の合計５つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。

実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。

地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。

１内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

計上費目	実施内容
仮設備関係	１．用水・電力等の供給設備，２．緑化・花壇 ３．ライトアップ施設，４．見学路及び椅子の設置 ５．昇降設備の充実，６．環境負荷の低減
営繕関係	１．現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） ２．労働者宿舎の快適化 ３．デザインボックス（交通誘警備員待機室） ４．現場休憩所の快適化 ５．健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	１．工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） ２．盗難防止対策（警報機等） ３．避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	１．完成予想図，２．工法説明図，３．工事工程表 ４．デザイン工事看板（各工事ＰＲ看板含む） ５．見学会等の開催（イベント等の実施含む） ６．見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 ７．パンフレット・工法説明ビデオ ８．地域対策費等（地域行事等の経費を含む） ９．社会貢献
防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）	１．防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）

※明示する項目を＿＿＿部分に記入又は追記し、不要部分は――で削除して使用すること。

別表3　　（A4）

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等）

分別解体等の計画等

工作物の構造（解体工事のみ）		□鉄筋コンクリート造　□その他（　　）
工事の種類		□新築工事　☑維持・修繕工事　□解体工事 □電気　□水道　□ガス　□下水道　□鉄道　□電話 □その他（　　）
使用する特定建設資材の種類（新築・維持・修繕工事のみ）		□コンクリート　□コンクリート及び鉄から成る建設資材 □アスファルト・コンクリート　□木材
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数　不明 その他（　　）
	周辺状況	周辺にある施設　☑住宅　□商業施設　□学校 □病院　□その他（　　） 敷地境界との最短距離　約　4　m その他（　　）

		工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	作業場所	作業場所　☑十分　□不十分 その他（　道路内での作業　）	
	搬出経路	障害物　□有（　　）　☑無 前面道路の幅員　約　4m 通学路　☑有　□無 その他（　　）	
	特定建設資材への付着物（解体・維持・修繕工事のみ）	□有 （　　） ☑無	
	その他		周辺住民への周知

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法（解体工事のみ）
	①仮設	仮設工事　☑有　□無	□　手作業 ☑　手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事　□有　□☑無	□　手作業 ☑　手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事　□有　☑無	□　手作業 □　手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事　☑有　□無	□　手作業 ☑　手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事　☑有　□無	□　手作業 ☑　手作業・機械作業の併用
	⑥その他　（　　）	その他の工事　□有　☑無	□　手作業 □　手作業・機械作業の併用
工事の工程の順序（解体工事のみ）		□上の工程における⑤→④→③の順序 □その他（　　） その他の場合の理由（　　）	
工作物に用いられた建設資材の量の見込み（解体工事のみ）		トン	

廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み（全工事）並びに特定建設資材が使用される工作物の部分（新築・維持・修繕工事のみ）及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分（維持・修繕・解体工事のみ）	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分（注）
		☑コンクリート塊	0.6トン	□①　□②　□③　☑④ □⑤　□⑥
		☑アスファルト・コンクリート塊	7.9トン	□①　□②　□③　☑④ □⑤　□⑥
		□建設発生木材	トン	□①　□②　□③　□④ □⑤　□⑥
	（注）①仮設　②土工　③基礎　④本体構造　⑤本体付属品　⑥その他			

備考

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

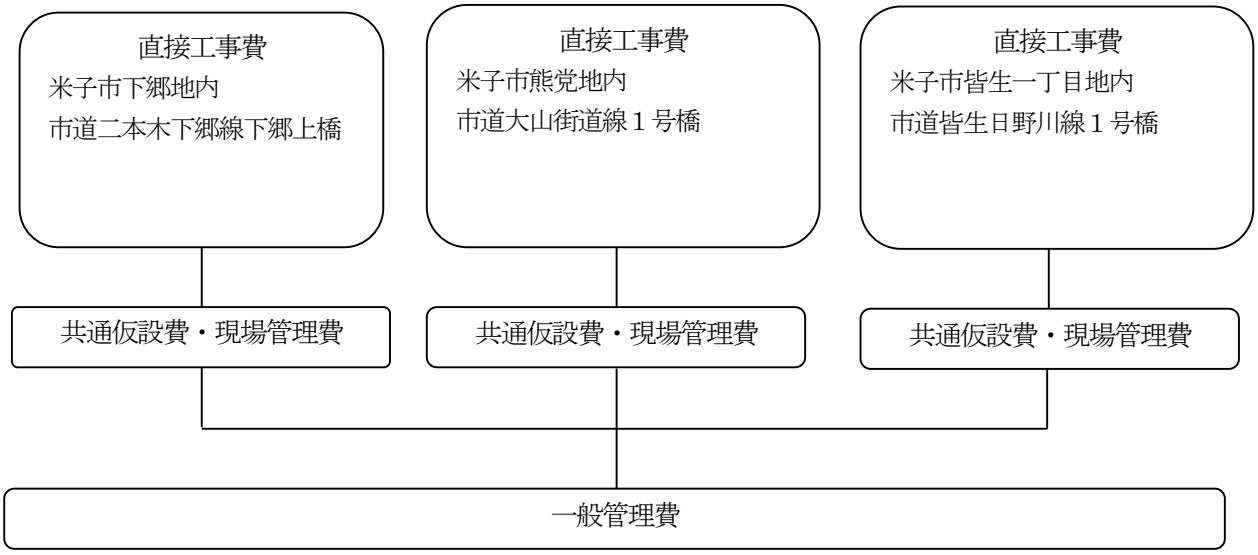
（別紙）

施工箇所が点在する工事の間接工事費の積算方法　現場説明書

本工事における一般管理費は、施工箇所毎に分けない積算と同様とするが、共通仮設費及び現場管理費の金額は、工事箇所毎に算出した共通仮設費及び現場管理費を合計した金額としている。なお、共通仮設費率、現場環境改善費率、及び現場管理費率の補正については、工事箇所毎に設定している。一般管理費算出時の共通仮設費率、及び現場管理費率にかかる施工地域を考慮した補正は、市道二本木下郷線下郷橋の設計書で設定した係数とする。

工事箇所名	施工箇所名
米子市下郷地内	市道二本木下郷線下郷上橋
米子市熊党地内	市道大山街道線１号橋
米子市皆生一丁目地内	市道皆生日野川線１号橋

《工事費体系イメージ図》



積 算 参 考 資 料

積算参考資料は、工事目的物を完成させるための手段を拘束するものではありません。

総 括 情 報 表

事務所	54 米子市
設計書名	実施設計書　　当初　　05-******-300　-40
変更回数	0
事業名	
適用単価区分	1　実施単価
適用単価地区	30 米子市
単価適用日	00-05.10.10(0)
諸経費体系	1　公共
ファイル名	

	当　世　代	前　世　代		当　世　代	前　世　代
工種	38　橋梁保全工事				
現場環境改善費	01　率計上する（地方部）				
施工地域	13　一般交通影響有り(2)				
緊急工事	00　通常工事　０％				
契約保証区分	01　金銭保証（０．０４％）				
豪雪割増	01　豪雪割増あり				
工事価格端数処理	00　千円止め（土木）				
工期算定区分	02　算出しない				
週休二日補正係数	01　週休二日補正なし				

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事 【下郷上橋(市道二本木下郷線)】		一式			Y1G03　(ﾚﾍﾞﾙ1)
橋梁補修工		一式			Y1G0324　(ﾚﾍﾞﾙ2)
ひび割れ補修工		一式			Y1G032404　(ﾚﾍﾞﾙ3)
低圧注入工法		構造物			Y1G03240402 (ﾚﾍﾞﾙ4)
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長３２．４m 床版	1	構造物			S1020037　00 A=32.4,B=27,C=0.34,D=4,E=7.78,F=5,G=130 単第0 -0001　表　051010
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長１２．０m 親柱	1	構造物			S1020035　00 A=2,B=0.13,C=4,D=2.88,E=5,F=48 単第0 -0002　表　051010
断面修復工		一式			Y1G032405　(ﾚﾍﾞﾙ3)
左官工法		構造物			Y1G03240501 (ﾚﾍﾞﾙ4)

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積０．１５１m3	1	構造物			S1020041　00 A=0.151,B=9,C=0.151 単第0 -0003　表　051010
殻運搬		m3			Y4900　(ﾚﾍﾞﾙ4)
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	0.2	m3			SPK23040152 00 A=1,B=1,C=1,D=34,E=1 単第0 -0004　表　051010
殻処分		t			Y4900　(ﾚﾍﾞﾙ4)
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
殻処分 Con殻(無筋) (株)大協組 県単価	0.4	t			TTV0440　00 051010
排水管補修工		一式			Y3900　(ﾚﾍﾞﾙ3)
排水管補修工		一式			Y4900　(ﾚﾍﾞﾙ4)
排水管撤去工 鋼管 橋梁架設工事の積算 P4-164	5	m			V0018　00 単第0 -0005　表　051010

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
橋梁_排水管設置 足場有り	4	m			SPK23040408 00 A=2 単第0 -0006 表 051010
材料 排水管補修(1)	1	一式			V0014 00 単第0 -0007 表 051010
材料 排水管補修(2)	1	一式			V0015 00 単第0 -0008 表 051010
高力ボルト取替工		一式			Y3900 (ﾚﾍﾞﾙ3)
高力ボルト締め工		一式			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
極小規模高力ボルト本締工 橋梁補修補強工事積算の手引き P244	1	一式			V0019 00 単第0 -0013 表 051010
材料 極小規模高力ボルト本締工	1	一式			V0020 00 単第0 -0014 表 051010
橋梁付属物工		一式			Y2900 (ﾚﾍﾞﾙ2)
水切り設置工		一式			Y3900 (ﾚﾍﾞﾙ3)

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
水切り設置工					Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
		m			
水切り設置工 EPDM系ゴム製水切り材 ウォーターカッター 相当					V0001 00
	125	m			単第0 -0015 表 051010
現場塗装工					Y2900 (ﾚﾍﾞﾙ2)
		一式			
塗膜除去工					Y3900 (ﾚﾍﾞﾙ3)
		一式			
湿式塗膜剥離工					Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
		一式			
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去 鈑桁構造・箱桁構造					V0004 00
	710	m2			単第0 -0016 表 051010
湿式塗膜剥離剤 ネオリバー泥パック橋梁用TypeⅡ 同等品 水系(エマルション) 建設物価 2023.10 P196					F0000000014 00
	378	kg			051010
廃材の回収・積込					V0005 00
	710	m2			単第0 -0017 表 051010
殻運搬					Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
		一式			

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離23.5km以下(20.0km超)	0.4	t			SPK23040410 00 A=1,B=2,C=17 単第0 -0018 表 051010
殻処分		一式			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
処分費 塗膜(廃プラ)、鉛含有 処分先：三光(株) 見積り	385	kg			W0001
橋梁塗装工		一式			Y3900 (ﾚﾍﾞﾙ3)
素地調整		m2			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
塗替塗装 素地調整	350	m2			SDT00029 00 A=1,B=2,C=2,H=1,I=1 単第0 -0019 表 051010
防食下地		m2			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
塗替塗装 下塗り塗装	350	m2			SDT00029 00 A=1,B=4,D=5,H=1,I=1 単第0 -0020 表 051010

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下塗		m2			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
塗替塗装 下塗り塗装	350	m2			SDT00029 00 A=1,B=4,D=2,F=1,H=1,I=1 単第0 -0021 表 051010
中塗		m2			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
塗替塗装 中塗り塗装	350	m2			SDT00029 00 A=1,B=5,E=2,F=1,G=1,H=1,I=1 単第0 -0022 表 051010
上塗		m2			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
塗替塗装 上塗り塗装	350	m2			SDT00029 00 A=1,B=6,E=3,F=1,G=1,H=1,I=1 単第0 -0023 表 051010
仮設工		一式			Y1G0328 (ﾚﾍﾞﾙ2)
仮足場工		一式			Y3900 (ﾚﾍﾞﾙ3)
足場		m2			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
吊足場 TYPE-A1 桁高h＜1.5m 現場環境条件による補正：1.1 橋梁架設工事の積算 P4-12	149	m2			V0010 00 単第0 -0024 表 051010
吊足場 床面シート張防護設置 現場環境条件による補正：1.1 橋梁架設工事の積算 P4-12	149	m2			V0016 00 単第0 -0025 表 051010
朝顔 TYPE-B　両側 現場環境条件による補正：1.1 橋梁架設工事の積算 P4-12	243	m2			V0017 00 単第0 -0026 表 051010
板張防護工 TYPE-B 現場環境条件による補正：1.1 橋梁架設工事の積算 P4-12	243	m2			V0021 00 単第0 -0027 表 051010
シート張防護工 TYPE-B 現場環境条件による補正：1.1 橋梁架設工事の積算 P4-12	243	m2			V0022 00 単第0 -0028 表 051010
仮囲い設置撤去工 設置・撤去 丸パイプ土中打込み式　H=3m 相当 クリーンルーム	17	m			S1032 00 B=34 単第0 -0029 表 051010
湿式剥離剤工用養生シート工 現場環境条件による補正：1.1 橋梁架設工事の積算 P4-158	710	m2			V0023 00 単第0 -0030 表 051010
現場環境対策資機材		一式			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
現場環境対策資材	1	一式			V0011 00 単第0 -0031 表 051010

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工		一式			Y1G032821　(ﾚﾍﾞﾙ3)
交通誘導警備員		人			Y1G03282101 (ﾚﾍﾞﾙ4)
交通誘導警備員B	24	人			R0369　00　051010 1
＊＊直接工事費＊＊					
技術管理費					Z0006
含有量試験 鉛 建設物価2023.10 P861	1	検体			W0001
含有量試験 クロム 建設物価2023.10 P861	1	検体			W0001
含有量試験 PCB 建設物価2023.10 P861	1	検体			W0001
安全費					Z0009

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
安全衛生防護具	1	一式			V0012　00 単第0 -0032　表　051010
現場環境改善費					Z0012
共通仮設費					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費計＊＊					

施 工 単 価 表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)　S1020037　単第0 -0001　表

補修延べ延長３２．４m　床版　1　構造物　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.879	人			RTPC00009 9
特殊作業員	3.110	人			RTPC00001 9
普通作業員	2.300	人			RTPC00002 9
エポキシ樹脂注入材 １種	0.340	ｋｇ			F0000000027 県単価
シール材 エポキシ樹脂系	10.659	kg			F0000000004 県単価
低圧注入器	130.000	個			F0000000005 見積り
諸雑費	6	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	構造物			

A=32.4　1構造物当り補修延べ延長(m/構造物)
C=0.34　注入材の必要数量(kg/構造物)
E=7.78　シール材の設計数量(kg/構造物)
B=27　【F】注入材(kg)
D=4　【F】シール材(kg)
F=5　【F】低圧注入器具(個)
G=130　低圧注入器具の必要数量(個/構造物)

土木一般世話役 = L / 10 * D2 = 32.400000000 / 10 * 0.58 = 1.879(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め
特殊作業員 = L / 10 * D2 = 32.400000000 / 10 * 0.96 = 3.110(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め
普通作業員 = L / 10 * D2 = 32.400000000 / 10 * 0.71 = 2.300(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め
シール材の材料使用数量 = 設計数量(kg) * (1 + ロス率) = 7.780000000 * (1 + 0.37) = 10.659(kg) 小数第4位四捨五入小数第3位止め

施 工 単 価 表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)　S1020035　単第0 -0002　表

補修延べ延長１２．０m　親柱　1　構造物　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			RTPC00009 9
特殊作業員	2.400	人			RTPC00001 9
普通作業員	1.800	人			RTPC00002 9
エポキシ樹脂注入材 ３種	0.130	kg			F0000000002 県単価
シール材 エポキシ樹脂系	3.946	kg			F0000000004 県単価
低圧注入器	48.000	個			F0000000005 見積り
諸雑費	6	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	構造物			
A=2　【F】注入材(kg) C=4　【F】シール材(kg) E=5　【F】低圧注入器具(個)			B=0.13　注入材の必要数量(kg/構造物) D=2.88　シール材の設計数量(kg/構造物) F=48　低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		
シール材の材料使用数量 = 設計数量(kg) * (1 + ロス率) = 2.880000000 * (1 + 0.37) = 3.946(kg) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

断面修復工(左官工法)　S1020041　単第0 -0003　表
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)　修復延べ体積０．１５１m3　1　構造物　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	3.473	人			RTPC00009 9
特殊作業員	5.738	人			RTPC00001 9
普通作業員	3.775	人			RTPC00002 9
断面修復材 ポリマーセメントモルタル	0.178	m3			F0000000009 県単価
諸雑費	11	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	構造物			
A=0.151　1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=0.151　断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=9　【F】断面修復材(m3)		
土木一般世話役 = V / 0.1 * D2 = 0.151000000 / 0.1 * 2.3 = 3.473(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = V / 0.1 * D2 = 0.151000000 / 0.1 * 3.8 = 5.738(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = V / 0.1 * D2 = 0.151000000 / 0.1 * 2.5 = 3.775(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					
断面修復材の使用数量 = 設計数量(m3) * (1 + ロス率) = 0.151000000 * (1 + 0.18) = 0.178(m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

殻運搬　　SPK23040152

施 工 単 価 表

単第0 -0004　表

Co(無筋)構造物とりこわし　　DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)　　1　m3　当り

機械構成比：　42.35%　労務構成比：　42.40%　材料構成比：　15.25%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　Co(無筋)構造物とりこわし C=1　DID区間無し E=1　-(全ての費用)			B=1　機械積込 D=34　運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

施 工 単 価 表

排水管撤去工　　V0018　　単第0 -0005　表

鋼管　　橋梁架設工事の積算 P4-164　　10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.3	人			RTPC00009 9
特殊作業員	0.8	人			RTPC00001 9
普通作業員	0.5	人			RTPC00002 9
<賃>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊 オペレータ付	0.5	日			KTPC00024 9
雑雑費	2	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施 工 単 価 表

橋梁_排水管設置　　SPK23040408　　単第0 -0006　表

足場有り　　1　m　当り

機械構成比：　0.00%　労務構成比：　100.00%　材料構成比：　0.00%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
特殊作業員	48.45%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	29.74%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	21.32%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2　足場有り					

材料　　V0014

施 工 単 価 表

単第0 -0007　表

排水管補修(1)　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
塩ビ管 接着受口片受直管　VP100 定尺4m	0.85	本			F0000000026 建設物価 2023.10 P691
ボルト W3/8×25(mm)	44	本			F0000000016 建設物価 2023.10 P66
ナット W3/8	44	個			F0000000017 建設物価 2023.10 P68
座金 W3/8	44	個			F0000000018 建設物価 2023.10 P68
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	一式			

材料　　V0015

施 工 単 価 表

単第0 -0008　表

排水管補修(2)　　1　式　当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
塩ビ管 VP100 定尺4m	0.28	本			F0000000015 建設物価 2023.10 P689
1号プレート 30×6×200 SS400	4	枚			V0006　単第0-0009　表
2号プレート 100×6×80 SM400A	1	枚			V0007　単第0-0010　表
3号プレート 100×6×595 SS400	1	枚			V0008　単第0-0011　表
4号プレート 100×6×279 SS400	2	枚			V0009　単第0-0012　表
ボルト W3/8×25(mm)	8	本			F0000000016 建設物価 2023.10 P66
打込みアンカー オールアンカー 同等品 M10×60	4	本			F0000000019 建設物価 2023.10 P65
ボルト M16×50(mm)	6	本			F0000000020 建設物価 2023.10 P67
ナット M16	6	個			F0000000021 建設物価 2023.10 P68
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	一式			

施工単価表

1号プレート　V0006　単第0 -0009　表

30×6×200　SS400　1　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼板 SS400	0.0003	t			F0000000022 建設物価 2023.10 P8
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			

施 工 単 価 表

2号プレート　　V0007　　単第0 -0010　表

100×6×80　　SM400A　　1　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼板 SM400A	0.0004	t			F0000000023 建設物価 2023.10 P8
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			

施 工 単 価 表

3号プレート　　V0008　　単第0 -0011　表

100×6×595　　SS400　　1　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼板 SS400	0.003	t			F0000000022 建設物価 2023.10 P8
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			

施 工 単 価 表

4号プレート　　V0009　　単第0 -0012　表

100×6×279　　SS400　　1　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼板 SS400	0.001	t			F0000000022 建設物価 2023.10 P8
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			

極小規模高力ボルト本締工　V0019

施 工 単 価 表

単第0 -0013　表

橋梁補修補強工事積算の手引き P244　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	0.5	人			RTPC00021 9
橋りょう特殊工	1.5	人			RTPC00020 9
普通作業員	0.5	人			RTPC00002 9
諸雑費	17	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	一式			

材料　　V0020

施 工 単 価 表

単第0 -0014　表

極小規模高力ボルト本締工　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ボルト S10T	1	本			F0000000024 見積り
ナット M30	1	個			F0000000025 見積り
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	一式			

施 工 単 価 表

水切り設置工　　V0001　　単第0 -0015　表

EPDM系ゴム製水切り材　　ウォーターカッター 相当　　100　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2	人			RTPC00009 9
特殊作業員	2	人			RTPC00001 9
普通作業員	4	人			RTPC00002 9
水切り材 EPDM系ゴム製水切り材 ｳｫｰﾀｰｶｯﾀｰ 同等品	100	m			F0000000001 見積り
雑材料	5	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施 工 単 価 表

塗膜剥離剤塗布・塗膜除去　V0004　単第0 -0016　表

鈑桁構造・箱桁構造　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去 時間的制約無	1	m2			W0001 土木コスト情報 2023.10 P507
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

廃材の回収・積込　　V0005

施 工 単 価 表

単第0 -0017　表

1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
廃材の回収・積込 時間的制約無	1	m2			W0001 土木コスト情報 2023.10 P508
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施 工 単 価 表

現場発生品及び支給品運搬　SPK23040410　単第0 -0018　表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊　片道運搬距離23.5km以下(20.0km超)　1　t　当り

機械構成比：　14.21%　労務構成比：　82.66%　材料構成比：　3.13%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t	14.21%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
特殊作業員	41.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	41.00%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	3.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　クレーン装置付BT2t級2.9t吊 C=17　片道運搬距離23.5km以下(20.0km超)			B=2　DID区間有り		

塗替塗装　　SDT00029

施 工 単 価 表

単第0 -0019　表

素地調整　　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 素地調整_2種ケレン 時間的制約なし	1.000	m2			TDT001027
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　昼間施工 C=2　2種ケレン(動力工具と手工具の併用) I=1　時間的制約なし			B=2　素地調整 H=1　-		

塗替塗装　　SDT00029

施 工 単 価 表

単第0 -0020　表

下塗り塗装　　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 下塗り_有機ジングリッチペイント(2回/層) はけ・ローラー,時間的制約なし	1.000	m2			TDT001093
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　昼間施工 D=5　有機ジンクリッチペイント(2回塗り/層) I=1　時間的制約なし			B=4　下塗り塗装 H=1　-		

塗替塗装　　SDT00029

施 工 単 価 表

単第0 -0021　表

下塗り塗装　　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 下塗り_弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層) はけ・ローラー,時間的制約なし	1.000	m2			TDT001069
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　昼間施工 D=2　弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層) H=1　-			B=4　下塗り塗装 F=1　はけ・ローラー I=1　時間的制約なし		

塗替塗装　　SDT00029

施 工 単 価 表

単第0 -0022　表

中塗り塗装　　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 中塗り_弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用_赤系 はけ・ローラー,時間的制約なし	1.000	m2			TDT001129
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　昼間施工 E=2　弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 G=1　赤系			B=5　中塗り塗装 F=1　はけ・ローラー H=1　-		
I=1　時間的制約なし					

塗替塗装　　SDT00029

施 工 単 価 表

単第0 -0023　表

上塗り塗装　　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 上塗り_弱溶剤形ふっ素樹脂塗料_赤系 はけ・ローラー,時間的制約なし	1.000	m2			TDT001183
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　昼間施工 E=3　弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 G=1　赤系			B=6　上塗り塗装 F=1　はけ・ローラー H=1　-		
I=1　時間的制約なし					

施 工 単 価 表

吊足場　　V0010　　単第0 -0024　表

TYPE-A1 桁高h＜1.5m　　現場環境条件による補正：1.1　　橋梁架設工事の積算 P4-12　　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工	0.143	人			RTPC00020
足場損料	2	ヶ月			W0001
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施 工 単 価 表

吊足場　　V0016　　単第0 -0025　表

床面シート張防護設置　　現場環境条件による補正：1.1　　橋梁架設工事の積算 P4-12　　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工	0.0077	人			RTPC00020
足場損料	2	ヶ月			W0001
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施 工 単 価 表

朝顔　　V0017　　単第0 -0026　表

TYPE-B　両側　　現場環境条件による補正：1.1　　橋梁架設工事の積算 P4-12　　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工	0.0242	人			RTPC00020
足場損料	2	ヶ月			W0001
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施 工 単 価 表

板張防護工　　V0021　　単第0 -0027　表

TYPE-B　　現場環境条件による補正：1.1　　橋梁架設工事の積算 P4-12　　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工	0.0198	人			RTPC00020
足場損料	2	ヶ月			W0001
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施 工 単 価 表

シート張防護工　　V0022　　単第0 -0028　表

TYPE-B　　現場環境条件による補正：1.1　　橋梁架設工事の積算 P4-12　　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工	0.0044	人			RTPC00020
足場損料	2	ヶ月			W0001
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施 工 単 価 表

仮囲い設置撤去工　S1032　単第0 -0029　表

設置・撤去　丸パイプ土中打込み式　H=3m 相当　クリーンルーム　10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.490	人			RTPC00009 9
普通作業員	2.449	人			RTPC00002 9
仮設材損料	34.000	供用日			仮囲鉄板丸パイプ
諸雑費	10	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　設置・撤去			B=34　仮囲い供用日数（日）		
D：日当り施工量（設置）= 35 D：日当り施工量（撤去）= 49 土木一般世話役 = (1*10/35)+(1*10/49) = 0.490					
普通作業員 = (5*10/35)+(5*10/49) = 2.449					

施 工 単 価 表

湿式剥離剤工用養生シート工　V0023　単第0 -0030　表

現場環境条件による補正：1.1　橋梁架設工事の積算 P4-158　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工	0.0165	人			RTPC00020
足場損料	2	ヶ月			W0001
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

現場環境対策資材　V0011

施 工 単 価 表

単第0 -0031　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
負圧集じん機レンタル料 56m3/min	2	台・月			W0001 見積り
負圧集じん機基管理料	2	式・台			W0001 見積り
負圧集じん機用1次フィルター	35	枚			W0001 見積り
負圧集じん機用2次フィルター	12	枚			W0001 見積り
負圧集じん機用HEPAフィルター	1	個			W0001 見積り
エアシャワー レンタル料	2	台・月			W0001 見積り
エアシャワー 基本管理料	2	式・台			W0001 見積り
エアシャワー用プレフィルター	2	枚			W0001 見積り
エアシャワー用HEPAフィルター	1	個			W0001 見積り
ｾｷｭﾘﾃｨｰﾙｰﾑ用 出入口カーテン ファスナー付き	2	個			W0001 見積り
ｾｷｭﾘﾃｨｰﾙｰﾑ用 足拭き用ニトクリーン	1	個			W0001 見積り
真空クリーナー レンタル料	2	台・月			W0001 見積り

現場環境対策資材　V0011

施 工 単 価 表

単第0 -0031　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
真空クリーナー 基本管理料	2	式・台			W0001 見積り
真空クリーナー用ﾌﾟﾗﾎｰｽ・Tﾉｽﾞﾙ・ﾊﾟｲﾌﾟ	2	セット			W0001 見積り
真空クリーナー用ダストパック	20	枚			W0001 見積り
真空クリーナー用HEPAフィルター	2	個			W0001 見積り
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	一式			

施 工 単 価 表

1　式　当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電動ファン付呼吸用防護具 全面形 Sy185V3 同等品	5	個			W0001 見積り
フィルタ V3 同等品	350	個			W0001 見積り
化学防護服 タイベック ソフトウェアーIII 同等品	700	個			W0001 見積り
シューズカバー タイベックス シューズカバー 同等品	700	個			W0001 見積り
化学防護手袋 ニトリルラテックス手袋 同等品	700	個			W0001 見積り
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	一式			

総 括 情 報 表

事務所	54 米子市
設計書名	実施設計書　　当初　　05-******-300　-40
変更回数	0
事業名	
適用単価区分	1　実施単価
適用単価地区	30 米子市
単価適用日	00-05.10.10(0)
諸経費体系	1　公共
ファイル名	

	当　世　代	前　世　代		当　世　代	前　世　代
工種	38　橋梁保全工事				
現場環境改善費	01　率計上する（地方部）				
施工地域	13　一般交通影響有り(2)				
緊急工事	00　通常工事　０％				
契約保証区分	01　金銭保証（０．０４％）				
豪雪割増	01　豪雪割増あり				
工事価格端数処理	00　千円止め（土木）				
工期算定区分	02　算出しない				
週休二日補正係数	01　週休二日補正なし				

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事 【１号橋(市道大山街道線)】		一式			Y1G03　(ﾚﾍﾞﾙ1)
橋梁補修工		一式			Y1G0324　(ﾚﾍﾞﾙ2)
ひび割れ補修工		一式			Y1G032404　(ﾚﾍﾞﾙ3)
低圧注入工法		構造物			Y1G03240402 (ﾚﾍﾞﾙ4)
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長17.1m	1	構造物			S1020035　00 A=2,B=0.27,C=4,D=4.09,E=5,F=69 単第0 -0001　表　051010
断面修復工		一式			Y1G032405　(ﾚﾍﾞﾙ3)
左官工法		構造物			Y1G03240501 (ﾚﾍﾞﾙ4)
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.001m3	1	構造物			S1020039　00 A=9,B=0.001 単第0 -0002　表　051010

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
充てん工法		構造物			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
断面修復工（充てん工法）	0.10	m3			V0016 00 単第0 -0003 表 051010
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	4	m2			SPK23040156 00 A=1,B=1,C=1 単第0 -0004 表 051010
支保工 パイプサポート支保 f<=40(t<=120)	5	空m3			S0370 00 A=1,B=1 単第0 -0005 表 051010
鉄筋工 鉄筋(各種)	0.001	t			S3276 00 A=6,B=22 単第0 -0006 表 051010
材料 断面修復工(充てん工法)	1	一式			V0017 00 単第0 -0007 表 051010
橋梁付属物工		一式			Y2900 (ﾚﾍﾞﾙ2)
水切り設置工		一式			Y3900 (ﾚﾍﾞﾙ3)
水切り設置工		m			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水切り設置工 EPDM系ゴム製水切り材 ウォーターカッター 相当	3	m			V0001 00 単第0 -0008 表 051010
構造物撤去工		一式			Y2900 (ﾚﾍﾞﾙ2)
運搬処理工		一式			Y3900 (ﾚﾍﾞﾙ3)
殻運搬		m3			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離10.9km以下(8.0km超)	0.1	m3			SPK23040152 00 A=1,B=1,C=1,D=44,E=1 単第0 -0009 表 051010
殻処分		t			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
殻処分 Con殻(無筋) (株)大協組 県単価	0.2	t			TTV0440 00 051010
＊＊直接工事費＊＊					

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
現場環境改善費					Z0012
共通仮設費					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費計＊＊					

ひび割れ補修工(低圧注入工法)　S1020035

施 工 単 価 表

単第0 -0001　表

補修延べ延長17.1m　1　構造物　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			RTPC00009 9
特殊作業員	2.400	人			RTPC00001 9
普通作業員	1.800	人			RTPC00002 9
エポキシ樹脂注入材 ３種	0.270	kg			F0000000002 県単価
シール材 エポキシ樹脂系	5.603	kg			F0000000004 県単価
低圧注入器	69.000	個			F0000000005 見積り
諸雑費	6	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	構造物			
A=2　【F】注入材(kg) C=4　【F】シール材(kg) E=5　【F】低圧注入器具(個)			B=0.27　注入材の必要数量(kg/構造物) D=4.09　シール材の設計数量(kg/構造物) F=69　低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		
シール材の材料使用数量 = 設計数量(kg) * (1 + ロス率) = 4.090000000 * (1 + 0.37) = 5.603(kg) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

断面修復工(左官工法)　S1020039　単第0 -0002　表
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)　修復延べ体積0.001m3　1　構造物　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.300	人			RTPC00009 9
特殊作業員	3.800	人			RTPC00001 9
普通作業員	2.500	人			RTPC00002 9
断面修復材 ポリマーセメントモルタル	0.001	m3			F0000000009 県単価
諸雑費	11	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	構造物			
A=9　【F】断面修復材(m3)			B=0.001	断面修復材の設計数量(m3/構造物)	
断面修復材の使用数量 = 設計数量(m3) * (1 + ロス率) =	0.001000000	* (1 + 0.18) =	0.001(m3)	小数第4位四捨五入小数第3位止め	

断面修復工（充てん工法）　V0016

施 工 単 価 表

単第0 -0003　表

1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	8.3	人			RTPC00009 9
特殊作業員	33.3	人			RTPC00001 9
普通作業員	25.0	人			RTPC00002 9
無収縮モルタル ﾌﾟﾚﾐｯｸｽﾀｲﾌﾟ(ﾁﾁﾌﾞﾍﾟｰｽﾄﾀｲﾄ) 同等品	1.1	m3			F0000000023 見積り
諸雑費	25	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

型枠　　SPK23040156

施 工 単 価 表

単第0 -0004　表

一般型枠　　鉄筋・無筋構造物　　1　m2　当り

機械構成比：　0.00%　労務構成比：　100.00%　材料構成比：　0.00%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	46.99%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=1　鉄筋・無筋構造物		

施 工 単 価 表

支保工　S0370　単第0 -0005　表

パイプサポート支保　f<=40(t<=120)　100　空m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.600	人			RTPC00009 9
型わく工	4.700	人			RTPC00010 9
とび工	2.200	人			RTPC00004 9
普通作業員	5.100	人			RTPC00002 9
諸雑費	15	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	空m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	空m3			
A=1　パイプサポート支保			B=1　f<=40(t<=120)		

鉄筋工　　S3276

施 工 単 価 表

単第0 -0006　表

鉄筋(各種)　　1　　t　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.600	人			RTPC00009 9
鉄筋工	3.900	人			RTPC00018 9
とび工	0.100	人			RTPC00004 9
普通作業員	2.200	人			RTPC00002 9
異形棒鋼 SD345 D10	1.050	t			F0000000022 見積り　9
諸雑費	6	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=6　　鉄筋(各種)			B=22　　【F】鉄筋(t)		

材料　　V0017

施 工 単 価 表

単第0 -0007　表

断面修復工(充てん工法)　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
シール材 エポキシ樹脂系	0.2	kg			F0000000004 県単価
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	一式			

施 工 単 価 表

水切り設置工　　V0001　　単第0 -0008　表

EPDM系ゴム製水切り材　　ウォーターカッター 相当　　100　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2	人			RTPC00009 9
特殊作業員	2	人			RTPC00001 9
普通作業員	4	人			RTPC00002 9
水切り材 EPDM系ゴム製水切り材 ｳｫｰﾀｰｶｯﾀｰ 同等品	100	m			F0000000001 見積り
雑材料	5	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施 工 単 価 表

殻運搬　　SPK23040152　　単第0 -0009　表

Co(無筋)構造物とりこわし　　DID区間無し 運搬距離10.9km以下(8.0km超)　　1　m3　当り

機械構成比：　42.35%　労務構成比：　42.40%　材料構成比：　15.25%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　Co(無筋)構造物とりこわし C=1　DID区間無し E=1　-(全ての費用)			B=1　機械積込 D=44　運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

総 括 情 報 表

事務所	54 米子市
設計書名	実施設計書　　当初　　05-******-300　-40
変更回数	0
事業名	
適用単価区分	1　実施単価
適用単価地区	30 米子市
単価適用日	00-05.10.10(0)
諸経費体系	1　公共
ファイル名	

	当　世　代	前　世　代		当　世　代	前　世　代
工種	38　橋梁保全工事				
現場環境改善費	01　率計上する（地方部）				
施工地域	13　一般交通影響有り(2)				
緊急工事	00　通常工事　０％				
契約保証区分	01　金銭保証（０．０４％）				
豪雪割増	01　豪雪割増あり				
工事価格端数処理	00　千円止め（土木）				
工期算定区分	02　算出しない				
週休二日補正係数	01　週休二日補正なし				

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事 【１号橋(市道皆生日野川線)】		一式			Y1G03　(ﾚﾍﾞﾙ1)
橋面補修工		一式			Y2900　(ﾚﾍﾞﾙ2)
橋面防水工		一式			Y3900　(ﾚﾍﾞﾙ3)
塗膜系防水		m2			Y4900　(ﾚﾍﾞﾙ4)
橋面防水工(補修) 塗膜系防水 アスファルト系	23	m2			SS000255　00 A=1 単第0 -0001　表　051010
橋面防水工材料一式	1	一式			V0016　00 単第0 -0002　表　051010
端部処理工		一式			Y4900　(ﾚﾍﾞﾙ4)
流末処理工	4	箇所			V0006　00 単第0 -0003　表　051010

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径60㎜以上64㎜未満 削孔深さ400㎜以上600㎜未満	4	孔			SPK23040120 00 A=1,B=3 単第0 -0004 表 051010
表層工		一式			Y3900 (ﾚﾍﾞﾙ3)
表層		m2			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚５５㎜ 橋面部	23	m2			SPK23040241 00 A=4,B=55,C=25,D=29,E=5,G=1,H=1,I=1 単第0 -0005 表 051010
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚５５㎜ 橋面部以外	38	m2			SPK23040241 00 A=4,B=55,C=25,D=29,E=2,G=1,H=1,I=1 単第0 -0006 表 051010
構造物撤去工		一式			Y2900 (ﾚﾍﾞﾙ2)
構造物取壊し工		一式			Y3900 (ﾚﾍﾞﾙ3)
舗装版切断		m2			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	22	m			SPK23040306 00 A=1,B=1,E=1 単第0 -0007 表 051010

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
舗装版破砕		m2			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
舗装版破砕 アスファルト舗装版 障害有り 舗装版厚4cmを超え10cm以下 橋面部	23	m2			SPK23040305 00 A=1,B=2,D=5,F=1,G=1 単第0 -0008 表 051010
舗装版破砕 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下 橋面部以外	38	m2			SPK23040305 00 A=1,B=1,C=1,D=1,F=1,G=1 単第0 -0009 表 051010
運搬処理工		一式			Y3900 (ﾚﾍﾞﾙ3)
殻運搬		m3			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
殻運搬 舗装版破砕 DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)	3	m3			SPK23040152 00 A=3,B=3,C=2,D=57,E=1 単第0 -0010 表 051010
殻処分		t			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
殻処分 As殻 カネックス(株) 県単価	8	t			TTV0441 00 051010

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
区画線工		一式			Y2900 (ﾚﾍﾞﾙ2)
区画線工		一式			Y3900 (ﾚﾍﾞﾙ3)
ペイント式区画線		m			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
区画線設置(ペイント式) 溶剤型(加熱式) 実線_15cm	14	m			SDT00003 00 A=1,B=1,C=1,E=1,F=1,G=1,H=2,I=1 単第0 -0011 表 051010
仮設工		一式			Y2900 (ﾚﾍﾞﾙ2)
交通管理工		一式			Y3900 (ﾚﾍﾞﾙ3)
交通誘導整理員		人			Y4900 (ﾚﾍﾞﾙ4)
交通誘導警備員Ｂ	6	人			R0369 00 051010 1
＊＊直接工事費＊＊					

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
技術管理費					Z0006
鉄筋探査	1	一式			V0007　00 単第0 -0012　表　051010
現場環境改善費					Z0012
共通仮設費					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費計＊＊					

橋面防水工(補修) 塗膜系防水　　SS000255

施 工 単 価 表

単第0 -0001　表

アスファルト系　　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜系防水【材工共】 アスファルト系 補修	1.000	m2			TSD00273
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　　-					

橋面防水工材料一式　V0016

施 工 単 価 表

単第0 -0002　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト舗装用成型目地材 ボンドテープ 同等品	9	m			F0000000026 建設物価 2023.10 P226
縦断排水管 スプリング管 ステンレス製 φ18	10	m			F0000000027 建設物価 2023.10 P227
導水テープ	13	m			F0000000028 建設物価 2023.10 P227
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	一式			

流末処理工　　V0006

施 工 単 価 表

単第0 -0003　表

1　　箇所　　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
塩ビ管 VP50 定尺4m	0.25	本			F0000000023 建設物価 2023.10 P689
90°エルボ φ50	1	個			F0000000024 建設物価 2023.10 P696
サドルバンド φ50用	2	個			F0000000025 建設物価 2023.10 P634
打込みアンカー オールアンカー 同等品 M6	4	本			F0000000019 見積り
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施 工 単 価 表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)　SPK23040120　単第0 -0004　表

削孔径60㎜以上64㎜未満　削孔深さ400㎜以上600㎜未満　1　孔　当り

機械構成比：　3.91%　労務構成比：　71.42%　材料構成比：　24.67%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径φ25cm	2.10%		コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径φ25cm		MTPC00093 MTPT00093
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 出力3kVA	1.24%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音		KTPC00042 KTPT00042
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	44.11%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	11.26%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.68%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット φ64.7㎜	20.58%		ダイヤモンドビット φ64.7㎜		TTPC00232 TTPT00232
ガソリン レギュラー　スタンド	3.50%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施 工 単 価 表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)　SPK23040120　単第0 -0004　表

削孔径60㎜以上64㎜未満　削孔深さ400㎜以上600㎜未満　1　孔　当り

機械構成比：　3.91%　労務構成比：　71.42%　材料構成比：　24.67%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　削孔径60㎜以上64㎜未満			B=3　削孔深さ400㎜以上600㎜未満		

施 工 単 価 表

表層(車道・路肩部)　SPK23040241　単第0 -0005　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚５５mm　橋面部　1　m2　当り

機械構成比：　1.68%　労務構成比：　10.95%　材料構成比：　87.37%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6m	1.13%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t	0.18%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t	0.17%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	2.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.80%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施 工 単 価 表

表層(車道・路肩部)　SPK23040241　単第0 -0005　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚５５mm　橋面部　1　m2　当り

機械構成比：　1.68%　労務構成比：　10.95%　材料構成比：　87.37%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
改質アスファルト混合物 改質I型密粒度(13) 県単価	86.66%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		F0000000029 TTPT00284
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	0.63%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4　平均幅員3.0m超 C=25　材料各種(2.30以上2.40t/m3未満) E=5　瀝青材料無し H=1　-			B=55　1層当り平均仕上り厚(mm) D=29　【F】As混合物(t) G=1　- I=1　-(全ての費用)		

施 工 単 価 表

表層(車道・路肩部)　SPK23040241　単第0 -0006　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚５５mm　橋面部以外　1　m2　当り

機械構成比：　1.63%　労務構成比：　10.57%　材料構成比：　87.80%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6m	1.04%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t	0.16%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t	0.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	2.12%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.74%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施 工 単 価 表

表層(車道・路肩部)　SPK23040241　単第0 -0006　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚５５mm　橋面部以外　1　m2　当り

機械構成比：　1.63%　労務構成比：　10.57%　材料構成比：　87.80%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
改質アスファルト混合物 改質I型密粒度(13) 県単価	79.45%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		F0000000029 TTPT00284
アスファルト乳剤 ＰＫ－３　プライムコート用	7.66%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	0.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4　平均幅員3.0m超 C=25　材料各種(2.30以上2.40t/m3未満) E=2　PK-3 H=1　-			B=55　1層当り平均仕上り厚(mm) D=29　【F】As混合物(t) G=1　- I=1　-(全ての費用)		

施 工 単 価 表

舗装版切断　　SPK23040306　　単第0 -0007　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比：　6.05%　労務構成比：　55.50%　材料構成比：　38.45%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	4.09%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.33%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタ(ブレード) 径22インチ(550mm)	35.21%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン レギュラー　スタンド	2.19%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施 工 単 価 表

舗装版切断　　SPK23040306　　単第0 -0007　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比：　6.05%　労務構成比：　55.50%　材料構成比：　38.45%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
A=1　アスファルト舗装版 E=1　-(全ての費用)			B=1　アスファルト舗装版厚15cm以下		

施 工 単 価 表

舗装版破砕　　SPK23040305　　単第0 -0008　表

アスファルト舗装版　　障害有り　舗装版厚4cmを超え10cm以下　　橋面部　　1　m2　当り

機械構成比：　1.98%　労務構成比：　95.51%　材料構成比：　2.51%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量3.5～3.7m3/min 吐出圧力0.7MPa	1.54%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン掛] 3.5～3.7m3/min		KTPC00011 KTPT00011
さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級	0.44%		さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級		MTPC00037 MTPT00037
特殊作業員	52.42%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	43.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	2.51%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　アスファルト舗装版 D=5　舗装版厚4cmを超え10cm以下 G=1　-(全ての費用)			B=2　障害有り F=1　積込作業有り		

施 工 単 価 表

舗装版破砕　　SPK23040305　　単第0 -0009　表

アスファルト舗装版　　障害無し 舗装版厚15cm以下　　橋面部以外　　1　m2　当り

機械構成比：　9.20%　労務構成比：　82.23%　材料構成比：　8.57%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)	9.20%		バックホウ [クローラ型・排ガス対策型(第2次)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00004 KTPT00004
土木一般世話役	29.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	28.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.74%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	8.57%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　アスファルト舗装版 C=1　騒音振動対策不要 F=1　積込作業有り			B=1　障害無し D=1　舗装版厚15cm以下 G=1　-(全ての費用)		

殻運搬　　SPK23040152

施 工 単 価 表

単第0 -0010　表

舗装版破砕　　DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)　　1　m3　当り

機械構成比：　45.57%　労務構成比：　37.51%　材料構成比：　16.92%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	37.51%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	16.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　舗装版破砕 C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=3　機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=57　運搬距離19.5km以下(10.5km超)		

区画線設置(ペイント式)　SDT00003

施 工 単 価 表

単第0 -0011　表

溶剤型(加熱式) 実線_15cm　1,000　m　当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_ペイント式【手間のみ】_豪雪 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			TDT000331
トラフィックペイント(JISK5665_2種B) 加熱型(液状) 白	72.100	L			T1080013
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	60.770	kg			T1080035
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	35.020	L			TTPC00013
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 C=1　白色 F=1　時間的制約なし			B=1　溶剤型(加熱式) E=1　実線_15cm G=1　-		
H=2　豪雪地域の場合			I=1　-(全ての費用)		

鉄筋探査　V0007

施工単価表

単第0 -0012　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師（A） (外業)	0.5	人			R0880 1
技師（B） (外業)	1.0	人			R0890 1
技師（C） (外業)	1.0	人			R0900 1
雑材料	5	%			#01
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	一式			

補修工事数量総括表　　下郷上橋(市道二本木下郷線)

L1	L2	L3	L4	L5	単位	数　量	摘　要
工事区分	工種	種別	細別	規格			
橋梁補修工							
	ひび割れ補修工						
		低圧注入工法					
			ひび割れ補修工（低圧注入工法）				床版
			施工延長	幅0.2mm以上1.0mm未満	m	32.4	
			注入材	エポキシ樹脂1種	kg	0.34	
			シール材	エポキシ樹脂系	kg	7.78	
			低圧注入器具		個	130	
			ひび割れ補修工（低圧注入工法）				親柱
			施工延長	幅0.2mm以上1.0mm未満	m	12.0	
			注入材	エポキシ樹脂3種	kg	0.13	
			シール材	エポキシ樹脂系	kg	2.88	
			低圧注入器具		個	48	
	断面修復工						
		左官工法					
			断面修復工(左官工法)	ポリマーセメントモルタル	m3	0.151	
			殻運搬	Con殻(無筋)	m3	0.15	
			殻処分	Con殻(無筋)	t	0.35	
	排水管補修工						
		排水管補修工					
			排水管撤去工	鋼管	m	5.4	
			排水管設置	足場有り	m	4.4	
			材料	排水管補修（１）	式	1	
			材料	排水管補修（２）	式	1	
	高力ボルト取替工						
		高力ボルト締工					
			極小規模高力ボルト本締工		式	1	
			材料		式	1	
	橋梁付属物工						
		水切り設置工					
			水切り設置工	EPDM系ｺﾞﾑ製水切り材 ｳｫｰﾀｰｶｯﾀｰ 同等品	m	124.6	
	橋梁塗装工						
		現場塗装工					
			塗膜剥離塗布・塗膜除去	鈑桁構造・箱桁構造	m2	707.0	
			湿式塗膜剥離剤	ネオリバー泥パック橋梁用TypeⅡ 同等品	kg	378.3	
			廃材の回収・積み込み		m2	712.8	
			現場発生品及び支給品運搬		t	0.4	384.7kg
			処分費	塗膜(廃プラ)、鉛含有	kg	384.7	
			素地調整	２種ケレン	m2	353.5	
			下塗	有機ジンクリッチペイント（２回塗り）	m2	353.5	
			下塗	弱溶剤形エポキシ樹脂塗料（２回塗り）	m2	353.5	
			中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	m2	353.5	
			上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗	m2	353.5	
			環境対策資機材		式	1.0	
			安全衛生防護具		式	1.0	

補修工事数量総括表　　下郷上橋(市道二本木下郷線)

L1	L2	L3	L4	L5	単位	数　量	摘　要
工事区分	工種	種別	細別	規格			
	仮設工						
		足場工					
			吊り足場	Type-A1 桁高1.5m未満	m2	149.0	
			床面シート張防護設置		m2	149.0	
			朝顔	Type-B 両側	m2	243.4	
			板張防護工	Type-B	m2	243.4	
			シート張防護工	Type-B	m2	243.4	
			仮囲い設置撤去工	クリーンルーム設置用	m	17.0	
			湿式剥離剤工用養生シート工	中段足場養生無し	m2	712.7	
		交通管理工					
			交通誘導員	交通誘導員B	人	24	

1. ひび割れ補修工

項目	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(低圧注入工法)　床版			
施工延長			
	ひびわれ幅 0.2mm以上0.5mm未満 数量計算書より	m	32.4
注入材	ひびわれ幅 0.2mm以上0.5mm未満 エポキシ樹脂1種（γ=1.15） W= 0.0002×0.04×1150×1.15×32.4 ※平均ひび割れ幅0.2mm、深さt=40mm　15%ロス含む	kg	0.34
シール材	エポキシ樹脂系（γ=1.60） W= 0.05×0.003×1600×32.4 ※シール幅50mm、シール厚みt=3mmと仮定	kg	7.78
低圧注入器具	N= 32.4/0.25 ※@250ピッチで設置	個	130
ひび割れ補修工(低圧注入工法)　親柱			
施工延長			
	ひびわれ幅 0.2mm以上0.5mm未満 数量計算書より	m	12.0
注入材	ひびわれ幅 0.2mm以上0.5mm未満 エポキシ樹脂3種（γ=1.15） W= 0.0002×0.04×1150×1.15×12.0 ※平均ひび割れ幅0.2mm、深さt=40mm　15%ロス含む	kg	0.13
シール材	エポキシ樹脂系（γ=1.60） W= 0.05×0.003×1600×12.0 ※シール幅50mm、シール厚みt=3mmと仮定	kg	2.88
低圧注入器具	N= 12.0/0.25 ※@250ピッチで設置	個	48

2.ひびわれ補修工　数量計算書

位　置	ひびわれ注入工　（エポキシ樹脂系注入材）						備考
	0.2mm以上0.5mm未満		0.5mm以上1.0mm未満		1.0mm以上		
	m						
桁下面(1径間)							
	1	0.85					
	2	0.75					
	3	1.00					
	4	0.90					
小　　計	3.50		0.00		0.00		
桁下面(2径間)							
	1	0.60					
	2	0.30					
	3	0.45					
	4	0.70					
	5	0.70					
	6	0.80					
	7	0.35					
	8	0.85					
	9	0.60					
	10	0.70					
	11	0.85					
	12	0.90					
	13	0.45					
	14	0.85					
	15	0.85					
小　　計	9.95		0.00		0.00		
桁下面(3径間)							
	1	0.35					
	2	0.85					
	3	0.70					
	4	0.30					
	5	0.60					
	6	0.85					
	7	0.50					
	8	0.60					
	9	0.60					
	10	0.75					
	11	0.60					
	12	0.80					
	13	0.85					
	14	0.90					
	15	0.85					
	16	0.70					
	17	0.65					
	18	0.55					
	19	0.80					
	20	1.20					
	21	1.00					
	22	0.85					
	23	0.50					
	24	0.30					
	25	0.70					
	26	1.10					
	27	0.50					
小　　計	18.95		0.00		0.00		

位　置	ひびわれ注入工　（エポキシ樹脂系注入材）						備考
	0.2mm以上0.5mm未満		0.5mm以上1.0mm未満		1.0mm以上		
	m						
親柱							
	1	0.70					
	2	0.20					
	3	0.25					
	4	0.60					
	5	0.80					
	6	0.40					
	7	0.50					
	8	0.60					
	9	0.30					
	10	0.35					
	11	0.50					
	12	0.30					
	13	0.70					
	14	0.45					
	15	0.75					
	16	0.35					
	17	0.40					
	18	0.15					
	19	0.20					
	20	0.30					
	21	0.40					
	22	0.20					
	23	0.20					
	24	0.30					
	25	0.40					
	26	0.30					
	27	0.75					
	28	0.20					
	29	0.40					
小　　計	11.95		0.00		0.00		
床版合計	32.40						エポキシ樹脂1種
親柱合計	11.95						エポキシ樹脂3種

3.断面修復工

項目	計算式	単位	数量
低圧注入工法			
断面修復工(左官工法)	(桁下面、橋面、親柱)		
	ポリマーセメントモルタル、鉄筋ケレン・防錆処理を含む		
	数量計算書より		
	A= 3.005	m2	3.01
	V= 0.1507	m3	0.151
殻運搬	コンクリート構造物		
	V= 0.15	m3	0.15
殻処分	無筋コンクリート		
	W= 0.15×2.35	t	0.35

4.左官工法　数量計算書

番号	部　位	形状・寸法（m × m）	補修面積（m^2）	補修深さ（m）	塗布面積（m^2）	補修体積（m^3）	備　考
U:うき	桁下面(1径間)						
1		0.20 × 0.25	0.050	0.050	0.095	0.0025	
2		0.15 × 0.20	0.030	0.050	0.065	0.0015	
3		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.0010	
4		0.10 × 0.15	0.015	0.050	0.040	0.0008	
5		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.0010	
6		0.15 × 0.20	0.030	0.050	0.065	0.0015	
7		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.0010	
	小計		0.185		0.415	0.0093	
	桁下面(2径間)						
1		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
	小計		0.010		0.030	0.0005	
	桁下面(3径間)						
1		0.10 × 0.15	0.015	0.050	0.040	0.0008	
2		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
3		0.15 × 0.40	0.060	0.050	0.115	0.0030	
4		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
5		0.15 × 0.45	0.068	0.050	0.128	0.0034	
6		0.10 × 0.25	0.025	0.050	0.060	0.0013	
7		0.15 × 0.40	0.060	0.050	0.115	0.0030	
8		0.15 × 0.25	0.038	0.050	0.078	0.0019	
9		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.0010	
10		0.10 × 0.25	0.025	0.050	0.060	0.0013	
11		0.15 × 0.20	0.030	0.050	0.065	0.0015	
12		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.0010	
	小計		0.381		0.821	0.0192	
	親柱						
1		0.15 × 0.50	0.075	0.050	0.140	0.0038	
	小計		0.075		0.140	0.0038	
T:鉄筋露出	桁下面(1径間)						
1		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
2		0.10 × 0.15	0.015	0.050	0.040	0.0008	
3		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
4		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.0010	
5		0.15 × 0.25	0.038	0.050	0.078	0.0019	
	小計		0.106		0.251	0.0053	
	桁下面(2径間)						
1		0.25 × 0.50	0.125	0.050	0.200	0.0063	
2		0.20 × 3.50	0.700	0.050	1.070	0.0350	
3		0.20 × 1.00	0.200	0.050	0.320	0.0100	
4		0.15 × 0.20	0.030	0.050	0.065	0.0015	
5		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
6		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
7		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.0010	
	小計		1.108		1.788	0.0554	
	桁下面(3径間)						
1		0.15 × 0.50	0.075	0.050	0.140	0.0038	
2		0.10 × 0.15	0.015	0.050	0.040	0.0008	
3		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
4		0.15 × 0.45	0.068	0.050	0.128	0.0034	
5		0.15 × 0.30	0.045	0.050	0.090	0.0023	
6		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
7		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.0010	
8		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	

番号	部　位	形状・寸法（m × m）	補修面積（m^2）	補修深さ（m）	塗布面積（m^2）	補修体積（m^3）	備　考
9		0.20 × 1.20	0.240	0.050	0.380	0.0120	
10		0.15 × 0.70	0.105	0.050	0.190	0.0053	
11		0.10 × 0.25	0.025	0.050	0.060	0.0013	
12		0.15 × 0.95	0.143	0.050	0.253	0.0071	
13		0.15 × 0.20	0.030	0.050	0.065	0.0015	
14		0.10 × 0.75	0.075	0.050	0.160	0.0038	
15		0.15 × 0.20	0.030	0.050	0.065	0.0015	
16		0.15 × 0.50	0.075	0.050	0.140	0.0038	
17		0.15 × 0.45	0.068	0.050	0.128	0.0034	
18		0.15 × 0.40	0.060	0.050	0.115	0.0030	
	小計		1.130		2.140	0.0567	
	親柱						
1		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
	小計		0.010		0.030	0.0005	
鉄筋ケレン・防錆処理を含む合計			3.005		5.615	0.1507	
鉄筋ケレン・防錆処理を含まない合計			0.000		0.000	0.0000	
合計			3.005		5.615	0.1507	

5.排水管補修工

項目	計算式	単位	数量
排水管補修工			
排水管撤去工	【排水管補修①】		
	L1= 0.38×11箇所＝4.18		
	【排水管補修②】		
	L2= 1.17×1箇所＝1.17		
	ΣL=4.18+1.17=5.35	m	5.4
橋梁_排水管設置	【排水管補修①】		
	L= 0.30×11=3.30		
	【排水管補修②】		
	L= 1.10		
	ΣL=3.30+1.10=4.40	m	4.4
材料	【排水管補修①】		
	接着受口付直管 VP100		
	L= 0.30×11箇所=3.30m　塩ビ管：定尺4m/本：3.30/4.0=0.825	本	0.83
	ボルト　W3/8×25		
	N= 4×11	個	44
	ナット　W3/8		
	N= 4×11	個	44
	座金　W3/8		
	N= 4×11	個	44
	【排水管補修②】		
	直管　VP100		
	L= 1.1×1箇所=1.1m　塩ビ管：定尺4m/本：1.1/4.0=0.275	本	0.28
	（鋼材単位重量：7.85kg/m3）		
	1号プレート　30×6×200		
	N= 4		
	1枚あたりW= 0.03×0.006×0.2×7.85=0.0003	t	0.0003
	2号プレート　100×6×80		
	N= 1		
	1枚あたりW= 0.1*0.006*0.08*7.85=0.0004	t	0.0004
	3号プレート　100×6×595		
	N= 1		
	1枚あたりW= 0.1*0.006*0.595*7.85=0.003	t	0.003
	4号プレート　100×6×279		
	N= 2		
	1枚あたりW= 0.1*0.006*0.279*7.85=0.001	t	0.001
	ボルト　W3/8×25		
	N= 8	個	8
	打込みアンカー　M10×60		
	N= 4	個	4
	ボルト,ナット　M16×50		
	N= 6	個	6

6.高力ボルト締工

項目	計算式	単位	数量
高力ボルト締工			
高力ボルト締工			
	N= 2	本	2
材料	S10T（ボルト）		
	N= 1	本	1
	M30（ナット）		
	N= 1	個	1

7. 水切り設置工

項目	計算式	単位	数量
水切り設置工 水切り設置工	※補修図（その１）、（その２）、（その３）より コンクリート構造物用ゴム製水切り材（EPDM系ｺﾞﾑ製水切り材 相当） 1径間 L1= 20.76+20.76=41.52m 2径間 L2= 20.76+20.76=41.52m 3径間 L3= 20.76+20.76=41.52m 施工延長　合計 L= L1+L2+L3	m	124.56

8.現場塗装工　集計表

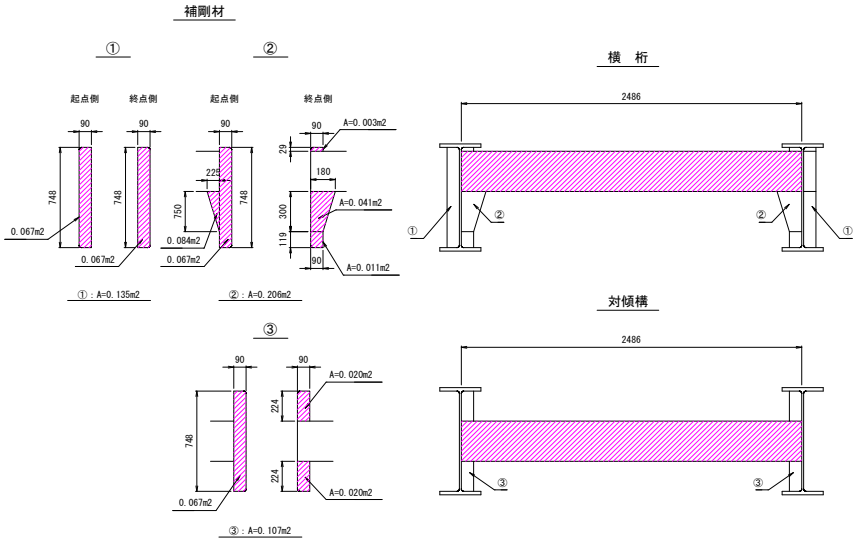
項目	計算式	単位	数量
塗膜除去工			
	補修面積		
	(上部工鋼材部、支承)		
	A= 350.76		
	(排水管)		
	A= 0.25*11=2.75		
	ΣA=350.76+2.75=353.51	m2	353.5
湿式塗膜剥離工			
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	環境対応型　使用量:m2当り0.5kg /m2回　2回塗布		
	塗布面積		
	A= 353.5×2	m2	707.0
湿式塗膜剥離剤	剥離剤使用量		
	W= 353.5×0.5×2×1.07	kg	378.3
	※ロス率7%		
廃材の回収・積み込み	湿式塗膜剥離剤工用養生シート		
	吊り足場部分		
	1径間= 2.50×20.10=50.25㎡		
	2径間= 2.50×19.39=48.48㎡		
	3径間= 2.50×20.10=50.25㎡		
	ΣA=148.95㎡	m2	149.0
	朝顔		
	1径間= (2.62+1.95)×20.10×2=183.71		
	2径間= (2.62+1.95)×19.39×2=177.22		
	3径間= (2.62+1.95)×20.10×2=183.71		
	橋脚部分 (2.62+1.95)×1.40×4=25.59		
	橋脚控除面積 1.15×1.4×4=6.44		
	ΣA=563.79	m2	563.8
	処分シート合計ΣA=	m2	712.8
殻運搬			
現場発生品および支給品運搬			
	シート1㎡あたり参考重量		
	1束1.80m×100m=180m2		
	1束1.67kg/180m2		
	0.009kg/m2		
	処分シート重量		
	W1= 712.8*0.009=6.4kg		
	剥離剤		
	W2= 378.3kg		
	合計ΣW=384.7	t	0.4
殻処分			
処分費	塗膜(廃プラ)・鉛含む		
	W= 384.7	kg	384.7

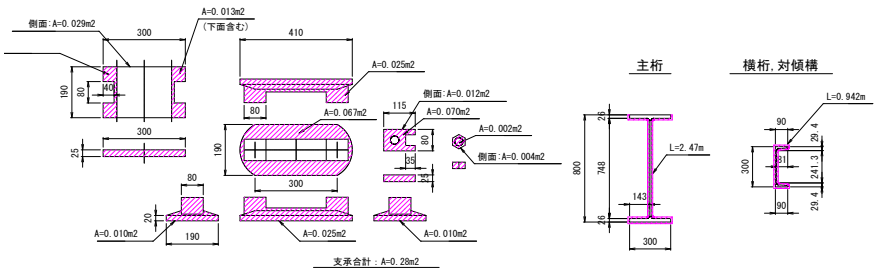
項目	計算式	単位	数量
素地調整	2種ケレン		
	A= 353.50	m2	353.5
下塗り	有機ジンクリッチペイント:2回塗り		
	A= 353.50	m2	353.5
	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料：2回塗り		
	A= 353.50	m2	353.5
中塗り	弱溶剤ふっ素樹脂塗料		
	A= 353.50	m2	353.5
上塗り	弱溶剤ふっ素樹脂塗料		
	A= 353.50	m2	353.5

9.塗替塗装工　根拠図

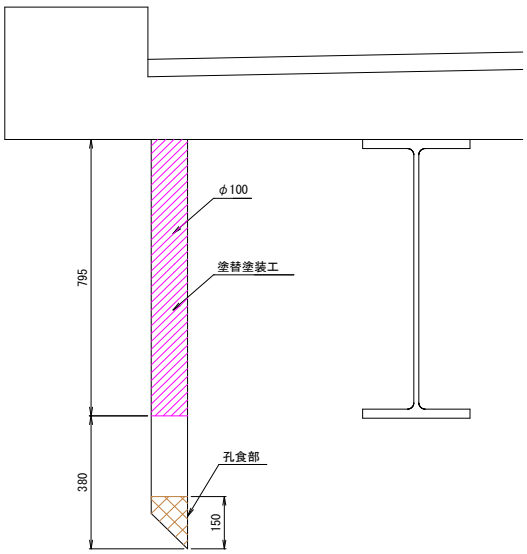
上部鋼材部、支承部　　A1 ＝　350.76　㎡

断面詳細図　S=1:20





排水管補修①　　A2 ＝　2.75　㎡



ΣA　＝　353.5　㎡

10. 仮設工

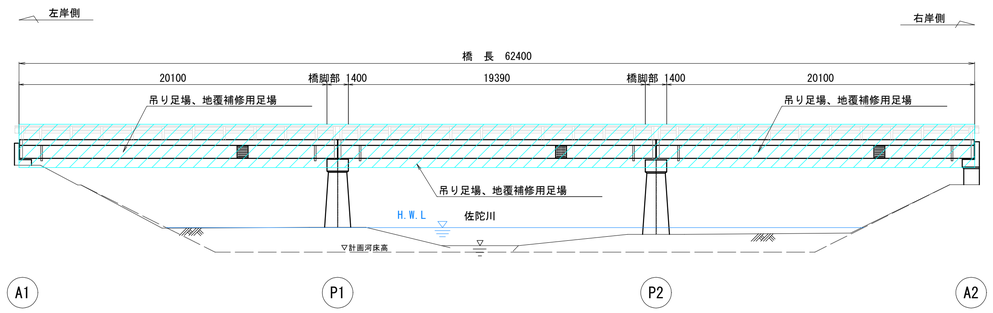
項目	計算式	単位	数量
足場工			
吊り足場	TYPE-A1 桁高1.5m未満 (1径間) (2径間) (3径間) A= (2.5×20.10)+(2.5×19.39)+(2.5×20.10)=148.98	m2	149.0
	床面シート張防護設置 (1径間) (2径間) (3径間) A= (2.5×20.10)+(2.5×19.39)+(2.5×20.10)=148.98	m2	149.0
朝顔	TYPE-B A= 1.95×62.40×2 合計ΣA=	m2	243.4
板張防護工	朝顔と同等 A= 243.36	m2	243.4
シート張防護工	朝顔と同等 A= 243.36	m2	243.4
仮囲い設置撤去工	クリーンルーム用 L= 6.0+6.0+2.5+2.5	m	17.0
湿式塗膜剥離剤工用養生シート工	湿式塗膜剥離剤工用養生シート 吊り足場部分 1径間= 2.50×20.10=50.25㎡ 2径間= 2.50×19.39=48.48㎡ 3径間= 2.50×20.10=50.25㎡ Σa1=148.95 朝顔 1径間= (2.62+1.95)×20.10×2=183.71 2径間= (2.62+1.95)×19.39×2=177.22 3径間= (2.62+1.95)×20.10×2=183.71 橋脚部分 (2.62+1.95)×1.40×4=25.59 橋脚控除面積 1.15×1.4×4=6.44 Σa2=563.79		
	合計ΣA=	㎡	712.7
交通管理工			
交通誘導整理員	交通誘導整理員Ｂ	人	24

下郷上橋(市道二本木下郷線)　足場計画図

【参考図】

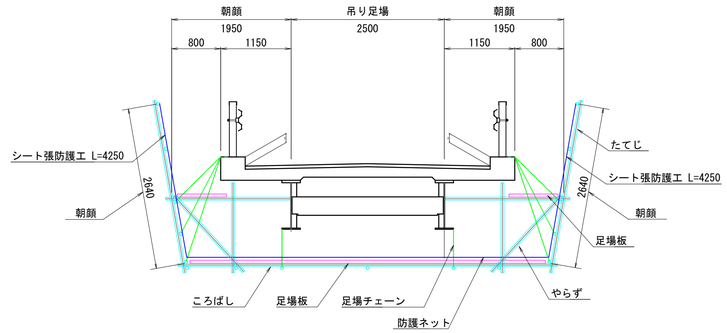
側面図

(A1)S=1:200
(A3)S=1:400



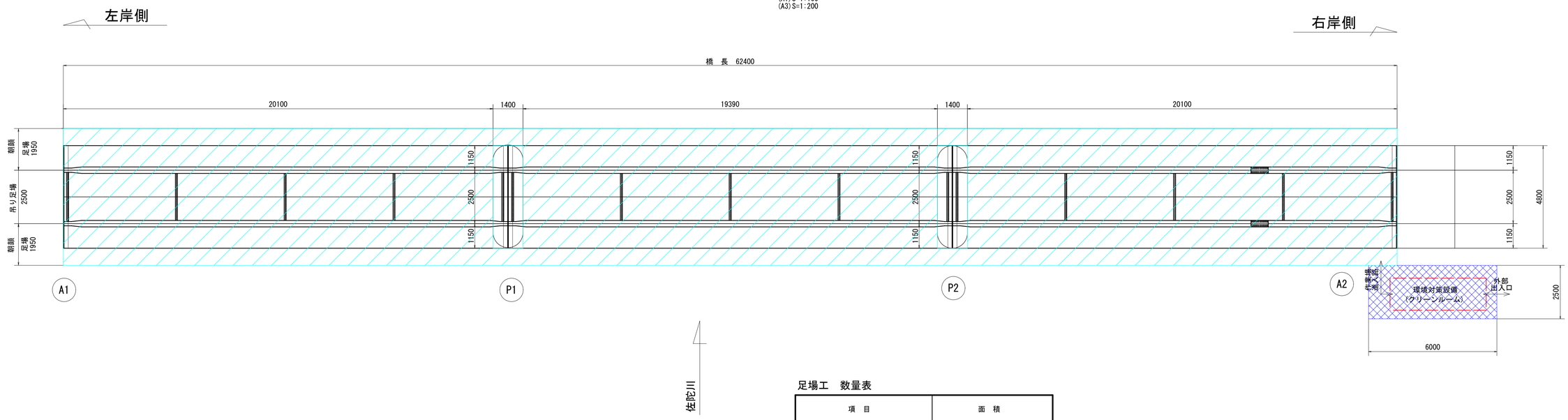
断面図

(A1)S=1:50
(A3)S=1:100



平面図

(A1)S=1:100
(A3)S=1:200



足場工　数量表

項　目	面　積
吊り足場(Type-A1)	149.0　m2
床面シート張防護設置	149.0　m2
朝顔(Type-B)	243.4　m2
板張防護工(Type-B)	243.4　m2
シート張防護工(Type-B)	243.4　m2
湿式塗膜剥離剤工用養生シート工	712.7　m2
クリーンルーム設置足場	17.0　m

図面番号	第　　枚内　　号
図面名称	市道二本木下郷線下郷上橋ほか2 橋りょう補修工事 下郷上橋　足場計画図
縮　　尺	図　　示
製図年月日	令和　　年　　月　　日
写図年月日	令和　　年　　月　　日
米子市　都市整備部　道路整備課	

5.1 補修数量総括表

橋梁名： １号橋(市道大山街道線)

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	備考
橋梁保全工事	橋梁補修工	ひびわれ補修工 低圧注入工法	低圧注入工法 （ひびわれ注入工）	エポキシ樹脂系3種　延べ延長	m	17.1	
				ひびわれ注入工 1構造物当り延べ延長	m	17.1	
				シール材　エポキシ樹脂系	kg	4.09	
				注入材　エポキシ樹脂系3種	kg	0.27	ロス率15%を含む
				注入器　低圧注入器	個	69	設置間隔：250mm間隔
		断面修復工 左官工法	左官工法	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含む	m^3	0.001	
				左官工法 1構造物当り延べ体積	m^3	0.001	
		断面修復工 充填工法	充填工法	無収縮モルタル	m^3	0.10	
			型枠工	一般型枠	m^2	4.2	
			支保工		m^3	5.2	
			鉄筋	SD345 D10	m	2.0	
			鉄筋工（鉄筋追加）	一般構造物	t	0.001	
			シール材	エポキシ樹脂系	kg	0.2	
	橋梁付属物工	水切り設置工	水切り設置工	EPDM系ｺﾞﾑ製水切り材 ｳｫｰﾀｰｶｯﾀｰ 同等品	m	2.83	
	構造物撤去工	運搬処理工	殻運搬	Con殻(無筋)	m^3	0.10	
			殻処分	Con殻(無筋)	t	0.24	

1　ひびわれ補修工

1.1　低圧注入工法（ひびわれ注入工）

（１）　延べ施工量

１）　エポキシ樹脂注入材3種

L ＝　17.05　＝　17.05 m

（２）　シール材

１）　エポキシ樹脂系

ΣL ＝　17.05　m（総延長）
w ＝　50 mm（幅）
t ＝　3 mm（厚さ）
γ ＝　1.60　（単位体積重量）

	（長さ）		（幅）		（厚さ）		(t/m^3)		(kg/t)		
W ＝	17.05	×	0.050	×	0.003	×	1.60	×	1000	＝	4.09 kg

（３）　注入材

１）　エポキシ樹脂注入材3種

ΣL ＝　17.05　m（総延長）
w ＝　0.24 mm（幅　加重平均）
t ＝　49 mm（深さ　加重平均）
γ ＝　1.15　（単位体積重量）

	（長さ）		（幅）		（厚さ）		(kg/m^3)				
W ＝	17.05	×	0.00024	×	0.049	×	1150	×	1.15 ロス率15%	＝	0.27 kg

（４）　注入器　（低圧注入器）

・設置間隔：250mm間隔

ΣL ＝　17.05　m（総延長）
N ＝　17.05　/　0.25　＝　69 個

2.　ひびわれ延長数量計算書

番号	部　位	ひびわれ w(mm)	ひびわれ L(m)	遊離石灰を伴う L(m)	深さ t(mm)	備　　考
I	桁下面					
1		0.20	0.40		40	
2		0.20	0.90		40	
4		0.25	0.80		50	
5		0.30	0.70		60	
6		0.20	1.10		40	
7		0.35	1.40		70	
8		0.20	0.40		40	
9		0.25	0.85		50	
11		0.20	0.75		40	
12		0.25	0.60		50	
13		0.20	0.80		40	
15		0.25	0.15		50	
17		0.30	0.60		60	
18		0.20	0.40		40	
19		0.25	0.25		50	
20		0.20	0.95		40	
21		0.35	0.60		70	
22		0.25	0.60		50	
23		0.20	0.30		40	
24		0.20	0.20		40	
25		0.20	0.30		40	
26		0.20	0.15		40	
27		0.30	1.05		60	
28		0.25	0.30		50	
29		0.20	0.45		40	
32		0.20	0.85		40	
33		0.25	0.90		50	
34		0.20	0.30		40	
	小計		17.05			注入：エポキシ3種

0.2≦w＜0.5mm 合計延長	幅 加重平均	17.05	－	深さ	
0.5≦w＜1.0mm 合計延長	(注入工のみ)	－	－	加重	
1.0≦w≦5.0mm 合計延長	0.24	－	－	平均	
5.0mm<w 合計延長	－	－	－	49	
遊離石灰を伴う 合計延長	－	－	－		

	w<0.2mm	0.2≦w ＜0.5mm	0.5≦w ＜1.0mm	1.0≦w ≦5.0mm	5.0mm＜w	遊離石灰を伴う	合　計
注入：エポキシ1種合計	－	－	－	－	－	－	－
注入：エポキシ2種合計	－	－	－	－	－	－	－
注入：エポキシ3種合計	－	17.05	－	－	－	－	17.05
注入：セメント系合計	－	－	－	－	－	－	－
注入：亜硝酸 ＋ エポキシ3種合計	－	－	－	－	－	－	－
注入：亜硝酸 ＋ セメント系合計	－	－	－	－	－	－	－
充填：ポリマーセメント系合計	－	－	－	－	－	－	－
充填：可とう性エポキシ樹脂系合計	－	－	－	－	－	－	－
充填：シーラント系合計	－	－	－	－	－	－	－
合　計	－	17.05	－	－	－	－	17.05

3　断面修復工(左官工法)

※断面修復深さは、はつり調査結果より40㎜とした。

3.1　左官工法

（１）　延べ施工量

１）　ポリマーセメントモルタル　鉄筋ケレン・防錆処理を含む

v ＝　0.001　＝　0.001 m^3

4 左官工法　数量計算書

番号	部　位	形状・寸法（m × m）	補修面積（m^2）	補修深さ（m）	塗布面積（m^2）	補修体積（m^3）	備　考
D							
4	床版下面	0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
	小計		0.010		0.026	0.0004	
鉄筋ケレン・防錆処理を含む合計						0.0004	
鉄筋ケレン・防錆処理を含まない合計							
合計			0.010		0.026	0.0004	

5　断面修復工(充てん工法)

※断面修復深さは、はつり調査結果より50㎜とした。

5.1　充てん工法

（１）　充てん工法　　（セメントモルタル）

数量計算書：補修体積より

V ＝　0.104　＝　0.104 m^3

（２）　プライマー工

数量計算書：塗布面積より

A ＝　2.513　＝　2.513 m^2

（３）　型枠工　　（一般型枠　鉄筋コンクリート）

補修図(その1)より

A ＝　1.469　×　2.838　＝　4.169 m^2

（４）　支保工

補修図(その1)より

	(高さ)		(幅)		(奥行き)		
V ＝	1.250	×	2.838	×	1.469	＝	5.211 m^3

5.2　鉄筋

（１）　SD345　D10

L ＝　1.05　＋　0.95　＝　2.00 m

5.3　鉄筋工（鉄筋追加）　　（一般構造物）

補修図(その1)より

SD345・D10の単位質量：0.56kg/m

W ＝　2.00　×　0.56　＝　1.00 kg

0.001 t

5.4　シール材

補修図(その1)より

	上流側		下流側		左岸		右岸		
L ＝	2.870	＋	2.870	＋	1.469	＋	1.469	＝	8.678 m

エポキシ樹脂系

ΣL ＝　8.678　m（総延長）

w ＝　50 mm（幅）

t ＝　3 mm（厚さ）

γ ＝　1.60　（単位体積重量）

	(長さ)		(幅)		(厚さ)		(t/m^3)		(kg/t)	
W ＝	1.00	×	0.050	×	0.003	×	1.60	×	1000	＝ 0.24 kg

6.　充填工法　数量計算書

番号	部　位	形状・寸法（m × m）	補修面積（m^2）	補修深さ（m）	塗布面積（m^2）	補修体積（m^3）	備　考
D							
1	下流側添架管(φ85)直上付近	2.87 × 0.65	1.866	0.050	2.218	0.0933	
6	下流側添架管(φ90)直上付近	0.40 × 0.30	0.120	0.050	0.160	0.0060	
6	下流側添架管(φ90)直上付近	0.50 × 0.20	0.100	0.050	0.135	0.0050	
	小計		2.086		2.513	0.1043	
	合計		2.086		2.513	0.104	

7　水切り設置工

7.1　水切り設置工

（１）　補修図（その１）より

EPDM系ｺﾞﾑ製水切り材 ｳｫｰﾀｰｶｯﾀｰ 相当
Ｌ＝　2.83　＝　2.83ｍ

8　構造物撤去工

8.1　運搬処理工

（１）殻運搬　(Con殻、無筋)

	左官工法		充填工法		
V ＝	0.0004	+	0.104	＝	0.10 m3

（２）殻処分　(Con殻、無筋)

W ＝	0.10	×	2.35	＝	0.24 t

補修数量集計表

橋梁名： １号橋(市道皆生日野川線)

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	備考
橋梁保全工事	橋面補修工	橋面防水工	塗膜系防水	下地処理、ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布、橋面防水、珪砂	㎡	22.9	
				目地材	m	9.3	
				縦断排水管(スプリング管φ18)	m	10.1	
				導水テープ	m	13.4	
			端部処理工	流末処理工	箇所	4.0	
				削孔　φ60	孔	4.0	
				鉄筋探査	式	1.0	
		表層工	表層	車道・路肩部、改質アスファルト 密粒アスコン 改質Ⅰ型(13) 舗装厚 平均t=55mm、瀝青材無し	㎡	22.9	
			表層	車道・路肩部、改質アスファルト 密粒アスコン 改質Ⅰ型(13) 舗装厚 平均t=55mm、PK-3	㎡	37.9	
	構造物撤去工	構造物取壊し工	舗装版切断	t=15cm以下	m	21.7	
			舗装版破砕	橋面部：障害あり、t=4cmを超え10cm以下	㎡	22.9	
				橋面部以外：障害無し、t=15cm以下	㎡	37.9	
		運搬処理工	殻運搬	As殻	m^3	3.3	
			殻処分	As殻	t	7.9	
	区画線工	区画線工	ペイント式	実線　W=15cm	m	14.2	
	仮設工	交通管理工	交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人	6	

1. 橋面防水工　集計表

種　別	細　別	規　格	単位	数量	摘　要
橋面防水工	塗膜系防水	下地処理、ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布、橋面防水、珪砂	m2	22.9	
		目地材（成型目地） 厚さ5㎜、幅30㎜	m	9.3	材料費
		縦断排水管 スプリング管φ18	m	10.1	〃
		導水テープ	m	13.4	〃
	端部処理工	流末処理工	箇所	4.0	
		削孔	孔	4.0	φ60
		鉄筋探査	箇所	4.0	

1-1. 塗膜系防水工　数量計算書

1) 下地処理　（　　橋面　ケレン　　）

橋面　上面
A　＝　22.910　　＝　　22.9　m2

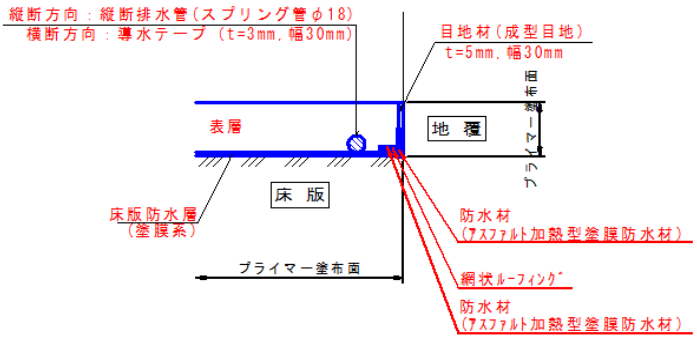
2) 橋面防水工　（　塗膜系防水　）

橋面　上面
A　＝　22.910　　＝　　22.9　m2

1-2. 塗端部処理工　数量計算書

車道部・端部処理図

S=1:5



1）端部立ち上がり部　目地材（成型目地）

補修図より

L ＝（　4.57　＋　4.73　）　＝　9.3　m

2）縦断排水管　（　スプリング管φ18　）

補修図より　　箇所

L ＝　3.96　＋　4.37　＋（　0.44　×　4　）　＝　10.1　m

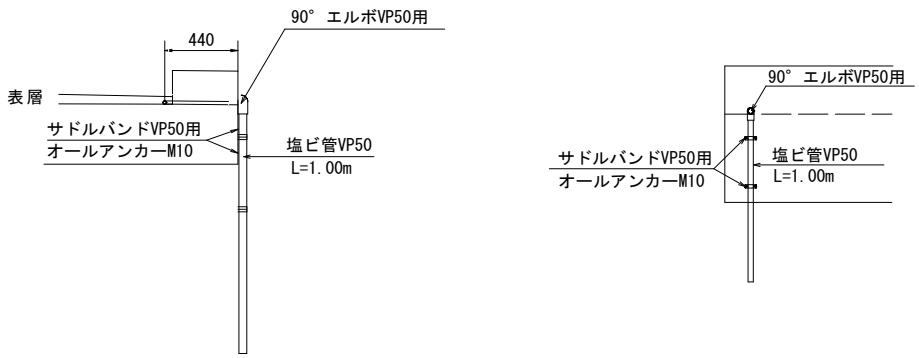
3）導水テープ　（　t=3mm,幅30mm　）

L ＝　0.28　＋　3.12　＋　0.79　＋　4.39　＋　0.38

＋　4.14　＋　0.28　＝　13.4　m

流末処理工 詳細図

断　面　図　　側　面　図



流末処理工　数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	算　式	数　量
排水管敷設	VPφ50	m	1.00m	1.00
塩ビ管	VPφ50	本	1.00m/4.00m(定尺)	0.25
90° エルボ	VPφ50用	個		1
サドルバンド	VPφ50用	個		2
オールアンカー	M6	個		4

1-3　表層工

1-3-1　表層

（１）　表層（橋面）

車道・路肩部　（改質アスファルト 密粒アスコン 改質Ⅰ型(13) 平均t=5.5cm 瀝青材無し）

補修図より

A ＝　22.91　＝　22.91 ㎡

（２）　表層（橋面以外）

車道・路肩部　（改質アスファルト 密粒アスコン 改質Ⅰ型(13) 平均t=5.5cm PK-3）

補修図より

A ＝　34.56　+　3.29　＝　37.85 ㎡

2　構造物撤去工

2.1　舗装版切断　（アスファルト舗装　t=15cm以下）

（１）　車道・路肩部　（t=5.5cm(平均)）

補修図より

L ＝　3.90　＋　5.00　＋　9.78　＋　3.00　＝　21.68　m

2.2　舗装版破砕　（アスファルト舗装　舗装版厚4cmを超え10cm以下）

（１）　アスファルト舗装　（t=5.5cm(平均)）　橋面部：障害あり

補修図より

A ＝　22.91　＝　22.91　m^2

（２）　アスファルト舗装　（t=5.5cm(平均)）　橋面部以外：障害なし

A ＝　34.56　＋　3.29　＝　37.85　m^2

2.3　殻運搬

（１）　舗装版破砕　機械積込

V ＝（　22.91　＋　37.85　）×　0.055　＝　3.34　m^3

2.4　殻処分

V ＝　3.34　＝　3.34　m^3

W ＝　3.34　×　2.35　t/m^3　＝　7.85　t

5.14　区画線工

5.14.1　区画線工

（１）　ペイント式　実線　W=15cm

補修図より

Ｌ＝　6.63　m　+　7.60　m　=　14.23　m

5.15　仮設工

5.15.1　交通管理工

（１）　交通誘導警備員

１）　交通誘導警備員Ｂ

Ｎ＝　　6　　人